事業者	番号	事務事業	名	佐伯総合	左伯総合スポーツ公園改修事業						名	地域	振興部スポーツ推進課	所属長名	原田	淳次
		方向性	4	新たな可能	たな可能性に挑む						<mark>係・グループ名</mark> スポーツ推進係					
		重点施策	2	市民が主	方民が主役!チャレンジを応援する スポーツや趣味などの身近な挑戦の支援					根拠法令等						
		施策方針	1	スポーツャ						事業						
		会計 01 款 07				項	04	目	05	事業1	事業2	経·臨	予:	算上の事業	名	
予算和	予算科目	一般会詞	it	土木費 都市計画費 公園整備					į	001	53	経 公園整備事業(政策)				

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (^{年度~} ^{年度}		H25年度策定の長寿命化計画やH30年度の公園の再整備方針に基づき、施設健全度も考慮し、修繕・改修する。
□ 単年度のみ		

□ 単年度のみ										
2 事務事業の対象・意図・活動・成果	指標					•				
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	 スポーツ施設(指定管理施設)	施設	目標	4	4	4	4	4
		,	スパーン地政(旧足官互地政)	旭叔	美績	4	4	4		
施設の管理及び運営	\rightarrow	1			目標					حرر
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					実績					
	\rightarrow	ゥ			目標					
					実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	7	그녀 /文 the 글을 봤는	施設	見込	1	1	1	1	1
		ア	改修施設数	他設	実績	1	3	2		
 体育館、野球場、陸上競技場、テニスコート		1			見込					
	^ 1−r →				実績					
	\rightarrow	ゥ			見込					حرير
					実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
					目標	60,000	60,000	77,000	77,900	77,900
市民が身近な場所で気軽にスポーツを	. →	ア	施設の利用者数	人	実績	60,797	63,151	59,988		
楽しめるように、地域のスポーツ施設等	F	1			目標					
の利便性を向上し、地域のスポーツ活動の場合を表す。		1			実績					
動の場の充実を図る。	\rightarrow	ゥ			目標					
					実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	_		の成果指標		区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度

結果(結びつく施策の意図は何か)

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	7	成人で週1回以上スポーツや運動を	%	目標	55.0	57.5	57.5	62.5	62.5
7	<i>y</i>	行う人の割合	90	実績	48.3	49.8	48.0		
	,			目標					
7	1 1			実績					

3 #	事務事業の予算・コスト 祝安												
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)						
1	事業費(A) (円)	30,648,200	32,216,800	284,001,600	817,640,380	533,638,780	817,900,000						
	国庫支出金		12,677,500			0							
財	県支出金		561,000			0							
源内	市債		12,600,000	259,200,000	705,300,000	446,100,000	804,200,000						
訳をの他特財				24,779,000	112,300,000	87,521,000	13,700,000						
	一般財源	30,648,200	6,378,300	22,600	40,380	17,780	0						
業剂	務延べ時間 (時間)	1,200	500	1,500	1,500	0							
,	人件費(B)(円)	5,268,000	2,132,000	6,552,000	6,651,000	99,000	0						
Ţ	ータルコスト(A+B)	35,916,200	34,348,800	290,553,600	824,291,380 533,737,780 817,6								
	主な	は支出項目	令和	日6年度(決算)		備考							
野球	場改修工事		40	00,475,380 円									
多目	的広場整備工事		41	7,165,000 円									
]	円									
]	円									

	事業番号	事務事業名	佐伯総合スポーツ公園改修事業	所管課名	地域振興部スポーツ推進
--	------	-------	----------------	------	-------------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
ロを創出するための拠点施設として整備が求められている。	野球場のフェンス、テニスコートの改修等、緊急度の高い箇所から修繕を進めている。加えて、H30に策定した再整備方針に基づき、野球場・陸上競技場の改修に取り掛かる。R5~6年度は野球場の改修を、R6~7年度は多目的広場整備を、それぞれ進めている。	空調設備など利用者の快適性を求める意見もある。

5 4	事業評価(令和 6 年度決算)	の評価)									
	①政策体系との整合性(この事	務事業の	目的は市の政策	体系に結びついているか。意図することが終	結果に結び	「ついているか。)					
	□ 見直し余地がある	理由	 佐伯地域は高齢	除化が進み、人口減少が見られる。地域の販	表わい創 出	や交流人口・関係人口拡大を図る目					
目	☑ 結びついている	説明	的は、市の政策	体系に結びつく。							
的	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならない	ものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や	地域民間等	等に任せることはできないか。)					
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	利田老の空会/	D担保は市の責務であり、事故を未然に防ぐ	*+_ サヘ ! = 。ウン	亜 た 車 类 ズ キ					
性評	☑ 妥当である	説明	利用有の女主の	り担休は中の貝房であり、争成を木然に切り	ノこのノール	女は争未じめる。					
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考え	て、対象と意図を見直す余地がないか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	佐い の 駐 も 白	上が、施設利用者数の拡大につながるため							
	☑ 適切である	説明	他設の巡り巾_	こか、他設利用有数の拡入につなかるにめ							
	④成果の向上余地(成果向上の	の余地はな	いか。成果を向	上させる有効な手段はないか。何が原因で	成果が向.	上しないのか。)					
	☑ 向上余地がある	理由	体訟 攸繕計画/	D適宜見直しを図ることで、適切な時期に改作	(水が行う)	Z					
	□ 目標水準に達している	説明	心故 修 槽 計 凹 0	7.個丘元直して囚ることで、個切な时期に以	S 1 1 /L1	ە لا					
有効	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業	を廃止・休止した	場合の影響の有無は。目的を達成するには	は、この事	務事業以外に方法はないか。)					
性	□ 影響がない	理由		場合、施設の老朽化が進むだけでなく安全性	#太田保で	ききない					
評価	☑ 影響がある	説明	廃止・	あら、心改の名称化が進むだけでは、女主に	主で担体で	5'4'.°					
	⑥類似事業との統合や連携による改善	s余地(類似語	事業(市の事業に限ら	ない)はないか。類似事業との統合や連携によって成り	果をより向上	させることはできないか。)					
	□ 改善余地がある	理由	施設の老朽化 <i>f</i>	が著しいため、長寿命化を図るとともに、魅力	」ある施設	へと再整備を実施する事業であり、					
	☑ 改善余地がない	説明	税明 類似事業が無い。 								
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直	直し、住民の協力などで事業費を削減できない	いか。)						
効	□ 削減余地がある	理由	安全に利用する	ためには一定程度の予算投入は必要							
率性	☑ 削減余地がない	説明	女王に利用する	元明CIG 定性反义 F 并汉八话必安							
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削]減余地(瓦	 大果を下げずにも	り方の見直しや民間委託などでコスト削減で	できないか	٧,)					
価	□ 削減余地がある	理由	再にお定管理領	制度を導入しており、人件費の削減は困難で	:あろ						
	☑ 削減余地がない	説明	別に旧た日本!	可及と等人してのグ、八川貝の市場の四種で	w).o/o						
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化余	地(事業内	容が「対象」の全体	本でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者	音負担は公	平・公正となっているか。)					
性	□ 見直し余地がある	理由	施設利田考かご	5利用料金を徴収しており、公平・公正な受益	なお色出っ	なみろ					
評価	☑ 公平・公正である	説明	ルビスイリカリーログ・・			.00.00					
6 4	事業評価の総括と今後の方向性	生									
①上	:記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価	話無の相	拠					
Α	上 目的妥当性		見直しの余地有り								
В	3 有効性	<u> </u>	改善の余地有り	拠点施設としての整備が順調に進んでいる 設・設備が増えている。該当箇所を適切な問	一方で、抗 専期に改作	を設の老朽化による修繕が必要な施し ≪できるよう 長寿命化計画の健全度					
С	。 効率性 ☑ 適切		改善の余地有り	調査結果を参考にしながら、適宜修繕計画							
D	公平性 ☑ 適切		見直しの余地有り								
3 4	(後の事業の方向性(改革改善)	案)・・・複数	坟選択可			④改革改善案による成果・コストの期待効果					

0 #	果評価の総	括と今後の	カ門	连						
①上	記の評価結果	Ę				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠			
Α	目的妥当性	V	適切		見直しの余地有り					
В	有効性		適切	✓	改善の余地有り	拠点施設としての整備が順調に進んでいる一方で、別				
С	効率性	✓	適切		改善の余地有り	設・設備が増えている。該当箇所を適切な時期に改修 調査結果を参考にしながら、適宜修繕計画の見直しる				き王皮
D	公平性	V	適切		見直しの余地有り					
③今?	後の事業の方	方向性(改革	改善	案)・・・複	数選択可		④改革改	女善案による	る成果・コストの期	待効果
	拡充 目的再設定 休止・廃止	□ 現状約 □ 改善 □ 完了		令和5~6 り、令和8 同時に、利	年度で野球場、令 年度以降に体育館 川用者の快適性にも	今後の改革改善案 が経過し、施設老朽化が著しい。 和6~7年度で多目的広場の改修を行っているところであのリニューアルに取り組むこととし、施設の寿命を延ばすと 一定の配慮をした改修に繋げていく。		向上		_
大規	<mark>革改善案を実</mark> 模改修には多 舌用を行なう。	らくの予算が	・必要		_	と納税をはじめとした新たな財源確保や起債等の計画		が乗 <u>維持</u> 低下 止・休止、完		,

事業番	号	事務事業	名	生涯学習	生涯学習推進本部運営事業						名	教	(育部生涯学習課	所属長名	永松 学	
		方向性	4	新たな可能	たな可能性に挑む						係・グループ名 生涯学習推進係					
		重点施策	2	市民が主	市民が主役!チャレンジを応援する スポーツや趣味などの身近な挑戦の支援					根拠法令等 第3期廿日市市教育振興基本計画、廿日市市生涯学習					習推進本部設置要綱	
		施策方針	1	スポーツヤ						事業	4	生涯学習活動の支援				
hh 1]	会計 01		款	09	項	05	目	01	事業1	事業2	経·臨	予	算上の事業	名	
予算科目	一般会詞	it	教育費 社会教育費 社会教育総務					費	005	01	経 生涯学習推進事業					

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
	総合的、効果的な生涯学習事業の推進のため、本部会(年1回)及び幹事	
期間限定複数年度 (^{年度~ 年度)}	会(年2回)を開催し、推進のための方針及び施策の実施について協議する。 本部会:市長、教育長、学識経験者、関連団体等関係者から構成 幹事会:青少年育成団体、文化団体から構成。令和4年度までは生涯学習	平成2年度
	フェスティバルの実行委員会も兼ねていた。	

□ 単年度のみ フェスティバ												
2 事務事業の対象・意図・活動・成果指	標											
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
	\rightarrow	ア	本部会・幹事会の開催回数		目標実績	2	2	<u>1</u> 0	-			
・本部会・幹事会の開催 ・事務局の運営	\rightarrow	1			目標							
・争伤向の連呂	\rightarrow	ゥ			実績 目標							
					実績							
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
	\rightarrow	ア	本部会委員数	人	見込	17	17	4	-	-		
本部会及び幹事会委員	\rightarrow	1	幹事会委員数	人	実績 見込	17 9	4 9	9				
不叩云及び打事玄安兵		-1		^	実績	9	9	9				
	\rightarrow	ゥ			見込 実績							
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
	\rightarrow	ア	本部会・幹事会での議題数	件	目標	3	3	3	_	-		
総合的、効果的に生涯学習事業が行わ			117 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	''	実績 目標	1	2	0				
総合的、効果的に生涯子音事業が引われる	^わ →	1			実績							
	\rightarrow	ゥ			目標実績							
					天限							

結果(結びつく施策の意図は何か) 生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	7	「生涯学習への支援や学習機会の提供により	ポイント	目標	3	3	3.05	3.05	3.05
→ [<i>y</i>	市民がいつでも学べる環境づくり」の満足度	小イント	実績	3.00	3.02	3.00		
_	1	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、	%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
7	1	美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	90	実績	50.5	52.3	50.7		

	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
Ī	事業費(A) (円)	25,920	21,620	27,020	0	27,020	56,520		
	国庫支出金					0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財					0			
	一般財源	25,920	21,620	27,020	0	-27,020	56,520		
業務	務延べ時間 (時間)	14	14	14	0	-14			
	人件費(B)(円)	61,000	59,000	61,000	0	-61,000	0		
ŀ	ータルコスト(A+B)	86,920	80,620	88,020		-33,980	56,520		
	主な	は支出項目	令和	和6年度(決算)	備考				
生涯	学習推進本部幹事	会委員謝礼		0 円					
生涯	学習推進本部幹事	会委員旅費(費用弁償	i)	0 円					
				円					
				円					

事業番号 事務事業名	生涯学習推進本部運営事業	所管課名	教育部生涯学習課
------------	--------------	------	----------

	4	事務事業(の環境変化・	住民意見等
--	---	-------	--------	-------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	• • •	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
会状況や合併等による市の状況が変化している。 人生100年時代といわれる時代になり、生涯にわたる学 びの保障が求められる。 定4年齢の延長などにより、社会参画の機会が減少して	方針及び施策を協議する本部会(市長が本部長)は 平成25年度以降開催していない。県内23市町(廿 日市市を含む)へ推進本部設置に関するアンケート を実施した。15市町から回答を得、現在設置が7、 廃止が1町、未設置が7市町であった。設置の7市町 のうち、3市が廃止を視野に入れて検討中と回答が あった。	_

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

•	F不时间(1)和 0 干皮入升	** H									
	①政策体系との整合性(この事	事務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)								
	☑ 見直し余地がある	理由	本部会が機能していないため、生涯学習推進のための組織体制の見直しが必要と考えている。								
目	□ 結びついている	説明	本語 五次 "成化して0.450 行この、工作于自己定定の7.500 の心臓体 [hi]の元 直した "必要に与えて0.40。								
的买	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)								
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	 市民全体を対象とした生涯学習の推進は市が行うべきものである。								
評	☑ 妥当である	説明	市民主体と対象とのに工作于自め温度は市が刊り、そののとのも。								
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)								
	☑ 見直し余地がある	理由	 推進のために必要な組織体制の見直しが必要と考えている。								
	□ 適切である	説明	正とりためため、女は世界ではなったとした。から、								
	④成果の向上余地(成果向上	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)								
	☑ 向上余地がある	理由	本部会の会議を開催していない。								
	□ 目標水準に達している	説明	本中女の女成と 別底して0 "み0 "。								
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)								
性評	✓ 影響がない	理由	 社会教育委員会会議や総合教育会議等で意見を求めることができるため、実際大きな影響はないと考えて								
一個	□ 影響がある	説明	いる。今後生涯学習の方針を推進していくにあたり、本組織を活用することが考えられる。								
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)										
	☑ 改善余地がある	理由	 社会教育委員会会議や総合教育会議等で意見を求めることができるため、必要性の検討を行い、効果的								
	□ 改善余地がない	説明	な実施体制にすることが望ましい。 								
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)								
効	□ 削減余地がある	理由	 幹事会の開催費用のみであり、削減の余地はないが、事業を廃止した場合は、費用が削減できる。								
率性	☑ 削減余地がない	説明	打事去の開催員用ののでものが、削減の示心はないが、事業を廃止した物白は、負用が削減 し どる。								
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	川減余地(瓦	成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。) -								
価	□ 削減余地がある	理由	最低限の人員で対応している。								
	☑ 削減余地がない	説明	取らなり入身に対応している。								
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化分	涂地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)								
性	☑ 見直し余地がある	理由	間接的に全市民が対象となるが、事業全体を見直すことで改善の余地がある。								
評価	□ 公平・公正である	説明	印]女はバーエリスパア) 外には句が、 宇木土 件と元但 タ ┗C C 以音の示地がめる。								
_ 1	5巻前体の公任し今後の七点。	Lei									

0 7	果評価の総	古と	ブ俊の	カ門	<u> </u>									
①上i	記の評価結果	Į					_	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠					
Α	目的妥当性			適切		✓	見直しの余地有り							
В	有効性			適切		V	改善の余地有り	- 現時点では実質機能しているとは言い難く、類似の会	議と0	の統合	か効	果的な組	織体制	を構
С	効率性		✓	· 適切			改善の余地有り	築する必要がある。						
D	公平性			適切		✓	見直しの余地有り							
③今	後の事業の方	向性	E(改革	改善	案)•••	複	数選択可		4改革	直改善多	案による	る成果・コスト	-の期待	効果
	拡充		現状約	推持				今後の改革改善案						
	目的再設定	✓	改善				度に策定する生活 体制を検討する	涯学習の推進方針において、推進体制を定めた上で、 。			/	コス	-	
	休止•廃止		完了								$\overline{}$	削減維持	1 増加	
⑤改	革改善案を実	施す	る上で	が解決	すべき	課是	返			成果	向上 維持	0		
	学習推進本部 を明確にする			再確認		≹教	育委員との役割の	の差別化等体制を見直すに当たり、推進本部の目的と	(彦		低下	了の場合は	記入不到	要)

事業番号	事務事業	名	はつかいちさくら賞表彰事業							所管課名 教育部生涯学習課 <mark>所属長名</mark>					
	方向性 4 新たな可能性に挑む 係							係・	ブルー	-プ名	生涯	学習推進係			
	重点施策	2	市民が主	市民が主役!チャレンジを応援する							第3期	廿日市市教育振興基本	はつ はつ	かいちさくら賞表彰規程	
	施策方針	1	スポーツヤ	や趣味	などの身边	丘な挑	戦の支援	基本	事業	4	生涯				
7 M 1.1 D							01	事業1	事業2	経·臨 予算上の事業名					
予算科目	一般会	Ħ	教育費 社会教育費 社会教育総務			務費	005	01	経	生涯学習推進事業					

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		平成2年度 総合的、効果的な生涯学習事業を
□ 期間限定複数年度 (年度~ 年度)	生涯学習の推進に貢献があった市民又は団体に対して年2回表彰を行う。	推進するため「廿日市市生涯学習推進本部」を 設置 平成3年度~「生涯学習推進本部表彰」として 開始
□ 単年度のみ		平成11年度~「はつかいちさくら賞」として表彰

□ 単年度のみ						平成	11年度~	はつかいな	ちさくら賞」。	として表彰
2 事務事業の対象・意図・活動・成果	指標	1				·				
主な活動内容		活動	1指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	年間の表彰回数	回	目標 実績	2 2	2 2	2 2	1	1
対象者の表彰、広報	\rightarrow	1			目標実績					
	\rightarrow	ゥ			目標					
					実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	:指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	人口(4月1日時点)	人	見込実績	116,866 116.248	116,866 115,984	116,866 115.658	116,866	116,866
市民·各種団体	\rightarrow	1			見込	110,240	113,304	113,036		
					実績					
	\rightarrow	ゥ			見込 実績					
幸國/長春ナドのしてむは出にしましてい		+ =	华.梅 / 辛 网 a ' 夫 + 中 b	1	E /\	4 左 広	r /r cs	0 左曲	7. 左 庄	0. 左座
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		以未	指標(意図の達成度)	単位	区分		5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
・受賞対象となる活発な生涯学習活動	<i>≸</i>	ア	年間受賞候補者	件	目標 実績	8 6	<u>8</u> 7	<u>8</u> 11	8 	8
行う市民が増える ・学んだことを活かし、生涯学習の推進		1	延べ受賞者	件	目標実績	5 5	5	5 10	5	5
に貢献する人材の育成		ゥ			日標	υ	/	10		
					実績					

結果(結びつく施策の意図は何か)

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	٦	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、	%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
	,	美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	70	実績	50.5	52.3	50.7		
	,			目標					•
1	1			実績					

② 東黎東拳の予賞・コフト郷亜

3 4	₽務事業の予算・コス	ト概要							
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
74	事業費(A) (円)	64,420	61,660	22,600	176,600	154,000	117,600		
	国庫支出金					0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財					0			
	一般財源	64,420	61,660	22,600	176,600	154,000	117,600		
業系	烙延べ時間 (時間)	50	50	50	50	0			
	人件費(B)(円)	219,000	213,000	218,000	221,000	3,000	0		
1	ータルコスト(A+B)	283,420	274,660	240,600	397,600	157,000	117,600		
	主な	ま支出項目	令和	和6年度(決算)	備考				
表彰	選考委員会謝礼			21,000 円					
表彰	選考委員会旅費(費	·用弁償)		1,600 円					
表彰	 盾購入			154,000 円					
				円					

事業番号	事務事業名	はつかいちさくら賞表彰事業	所管課名	教育部生涯学習課

4	車 	の環境変化・	住民音目等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
新型コロナウイルス感染症により、市民の学習活動、文化、スポーツ活動の中断や低下が懸念される。	受賞者をFMはつかいちへの出演や青少年健全育成新聞で取り上げることで、活動継続の意欲や広報につながっている。	
C 电类预压(合约 C 左座边管内预压)		<u> </u>

5	主要领压/	′全和	6	年度決算の評価)	١
•		T AN I	n		,

5 }	事業評価(令和 6 年度決算)	の評価)							
	①政策体系との整合性(この事	務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)						
	□ 見直し余地がある	理由	個 1 5 日 1 5 0 c 1 日 1 7 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						
目	☑ 結びついている	説明	個人や団体の活動の成果及び意欲の向上につながる事業である。						
的	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	・ なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)						
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	ナギキシナフーレー圧はおりて東サイヤフ						
性評	☑ 妥当である	説明	市が表彰することに価値がある事業である。						
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)								
	□ 見直し余地がある	理由							
	☑ 適切である	説明	市民全体を対象として活動を応援する事業である。 						
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	・ いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)						
	☑ 向上余地がある	理由	目標値の達成に向けて、低年齢層から裾野を広げる取組を継続していく必要がある。						
	□ 目標水準に達している	説明	日保恒の達成に向けて、低年節増から循野を払ける収組を継続してい必要がある。						
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)						
性	□ 影響がない	理由	也の事業では同様の成果が得られないものである。						
評価	☑ 影響がある	説明	他の争余では向極の成未が待られないものである。						
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)								
	□ 改善余地がある	理由	他に同様の事業がない。						
	☑ 改善余地がない	説明	世に内体の争未かない。						
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)						
効	□ 削減余地がある	理由	必要最低限の経費で実施している事業である。						
率	☑ 削減余地がない	説明	必安蚊は限り柱具で大胆している事業である。						
率性評!	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(瓦	成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)						
価	□ 削減余地がある	理由	必要最低限の経費で実施している事業である。						
	☑ 削減余地がない	説明	必安蚊は限り柱具で大胆している事業である。						
公平	⑨受益機会·費用負担の 適正化余	(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)						
性	□ 見直し余地がある	理由	 今ての古民を対象とした事業である						
評価	☑ 公平・公正である	説明	全ての市民を対象とした事業である。						

6	事	業評価の総	括と	今後のス	方向作	生									
1)上i	記の評価結果	Ę						②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠						
	Α	目的妥当性	:	V	適切			見直しの余地有り							
ľ	В	有効性			 適切		✓	改善の余地有り	 個人や団体のチャレンジを応援し、学習や趣味の活動	活動に継続して取り組むことを推奨す					
ľ	С	効率性		V	 適切			改善の余地有り	事業であり、必要な事業である。						
ľ	D	公平性		V	適切			見直しの余地有り							
3	() 今	後の事業の力	5向性	生(改革	改善:	案)•••	複	数選択可		④改革改善案による成果・コストの期待効果					
		拡充	V	現状維	持				今後の改革改善案						
		目的再設定		改善					ぶ意欲や挑戦する市民を応援、奨励できる制度になる。 取り組みを継続する。				コス		
		休止・廃止		完了							-)]減 維	寺増加	
(5	<u></u>	革改善案を実	<mark>E施す</mark>	る上で	解決	すべき	課題	<u>į</u>			成果	推持 氐下	C		
I										(.	廃止・休」	Ŀ、完了	の場合は	記入不要	姕)

_		1- 11-			•							1- 11: 1 7 7 11:177			
	事業番号	事務事業	名	移動文化	移動文化教室開催事業					f管課	名	孝	汝育部生涯学習 課	所属長名	永松 学
		方向性	4	新たな可能性に挑む 市民が主役!チャレンジを応援する						係・グループ名 生涯学習推進係					
		重点施策	2							処法令	等	第3期廿日市市教育振興基本計画			
		施策方針	1	スポーツや	趣味	などの身近	な挑	戦の支援	基本	基本事業 2 文化・芸術活動の支援					
ľ		会計 01		款	09	項	05	目	02	事業1	事業2	経・臨	予	算上の事業	名
	予算科目	一般会詞	it	教育費	ŧ	社会教育	費	文化振興費	į	001	01	経	文化振興事業		

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し	小中学校の中から毎年度2校を巡回し、音楽、芸能等の公演を行う。	
□ 期間限定複数年度 (年度~ 年度)	・芸術文化鑑賞・伝統芸能鑑賞類似の事業として、希望する学校に対し、文化庁が実施する芸術家の派遣	平成20年度ごろから開始
□ 単年度のみ	事業及び劇団四季による「こころの劇場」を行っている。	

		として、希望する字校に対し、文化庁が実施する芸術家の派遣 団四季による「こころの劇場」を行っている。										
□ 単年度のみ												
2 事務事業の対象・意図・活動・成果指	標											
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位		4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
	\rightarrow	ア	年間の実施校数	校	目標 実績	2	1	1	1	1		
小中学校を対象とした移動文化教室の	\rightarrow	1			目標							
実施					実績							
	\rightarrow	ゥ			目標 実績							
				1					-			
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
	\rightarrow	ア	 小学校児童数	人	見込 実績	6,413	6,378	6,382	6,382	6,382		
						6,378 2.791	6,385	6,382		2022		
市内小中学校の児童・生徒	\rightarrow	1	中学校生徒数	人	見込実績	2,809	2,809 2,886	2,932 2,932	2,932	2,932		
	\rightarrow	ゥ			見込実績							
	_				JC13C							
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
	\rightarrow	ア	移動文化教室に参加した児童・生徒 数	人	目標	100	50	50	50	50		
			奴		実績	80	145	259				
児童・生徒が文化芸術に触れる機会が 増える	\rightarrow	1			目標 実績							
	\rightarrow	ゥ			目標				ىر			
	J				実績							
結果(結びつく施策の意図は何か)	1	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
THE STATE OF STREET OF THE STR	1		日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、		目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0		
生涯を通じてスポーツや学びへの意欲を	\cdot	ア	美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	%	実績	50.5	52.3	50.7				
持つ	\rightarrow	1			目標							
		1			実績							

3 #	₿務事業の予算・コス	1100女							
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
	事業費(A) (円)	150,000	150,000	150,000	150,000	0	300,000		
	国庫支出金					0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財					0			
	一般財源	150,000	150,000	150,000	150,000	0	300,000		
業系	烙延べ時間 (時間)	20	20	20	20	0			
	人件費(B)(円)	87,000	85,000	87,000	88,000	1,000	0		
7	ータルコスト(A+B)	237,000	235,000	237,000	238,000	1,000	300,000		
	主な	は支出項目	令和	和6年度(決算)	備考				
移動	文化教室開催業務委	美託料		150,000 円					
				円					
				円					
				円					

事業番号	事務事業名	移動文化教室開催事業	所管課名	教育部生涯学習課
------	-------	------------	------	----------

4	事務事	業の	環境	竟変	化•	住月	意	見等	Ŧ

はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と 比べてどう変わったのか。	り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、 事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や 要望が、どの程度寄せられているか。
芸術文化鑑賞に関しては、類似する事業(ほほえみ コンサート等)が充実しているため、当該事業での実 施に対する関心が減っている。		鑑賞した児童生徒は、舞台の仕組みに興味を持ったり、伝統芸能を継承する価値を感じた等の感想が寄せられている。
5 車業部体(全和 6 年度決算の部体)	_	<u>-</u>

5 事業評価(令和 6 年)	皮沢昇の評価)
----------------	---------

5 f	P来評価(予和 0 平度次昇(ク計画)								
	①政策体系との整合性(この事	務事業の目	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	小中学生に本物の伝統文化を体験してもらうことにより、市民の文化への関心を高める事業である。							
目	☑ 結びついている	説明	が千子工に本物の因前人にと体験していうたとにより、市民の人に下の人がと同の心事来での心。							
的妥	②市が関与する妥当性(この事業に	ま市が行われ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)							
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	 全児童生徒を対象に体験の機会を提供し、伝統芸能を継承するためには妥当な事業である。							
評	☑ 妥当である	説明	エルモエルとの 外に呼吸が 成立と たいし、 は明正立 記と呼ぶ ナ のたいには メコ キチネ ての も。							
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状や	ウ成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。) ・							
	□ 見直し余地がある	理由	全児童生徒を対象に文化的素養を醸成する事業である。							
	☑ 適切である	説明	エル主工ルとバタに入口はアスをと欧バグ・サイトのも。							
	④成果の向上余地(成果向上の	余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)							
	☑ 向上余地がある	理由								
	□ 目標水準に達している	説明	実施対象校で予定どおり開催できるよう、年間行事決定前に案内をする。							
有効	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)									
性	□ 影響がない	理由	 児童・生徒が伝統芸能に触れる機会が減少する。							
評価	✓ 影響がある	説明	元皇・王促からは利に合成するので、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の							
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)									
	□ 改善余地がある	理由	 学校で広島県無形文化財にも認定されている説教源氏節人形芝居を鑑賞できるのはこの事業のみである。							
	☑ 改善余地がない	説明	テス CIA 日本語が入れ対しているになっている。							
	⑦事業費の削減余地(成果を下	げずに仕れ	まや工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。) -							
効	□ 削減余地がある	理由	事業を実施できる団体が限られているため							
率性	☑ 削減余地がない	説明	サネと大心でこの回体が吸づれたでいるため							
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(成	果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)							
価	□ 削減余地がある	理由	最低限の人員で実施している。							
	☑ 削減余地がない	説明	取四版の人員で美心している。							
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化	公余地(事業	「内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)							
性	☑ 見直し余地がある	理由	年1回1校の開催であり、全ての児童・生徒に対応できていない。							
評価	□ 公平・公正である	説明	十十回 TXのIMI IE でのか、主ての元里・エルに対心できていない。							
6 4	事業評価の総括と今後の方向性									

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根据	処								
A 目的妥当性 ✓ 適切	□ 見直しの余地有り	 児童・生徒が、伝統芸能に身近に触れる機会を提供で	きている。また、地域の文化への理解								
B 有効性 📗 適切	✓ 改善の余地有り	✓ 改善の余地有りを深め、新たな人材を見いだすためにも必要な事業である。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
C 効率性 ✓ 適切	□ 改善の余地有り	(ほほえみコンサートや県が実施する鑑賞事業等)が充実しているため、令和5年度から伝統									
D 公平性 📗 適切	✓ 見直しの余地有り	芸能のみの実施に変更した。 									
③今後の事業の方向性(改革改善)	と)・・・複数選択可		④改革改善案による成果・コストの期待効果								
☑ 拡充 □ 現状維持		今後の改革改善案									
□ 目的再設定 □ 改善	生徒がいるため、令和7年	げつ輪番で実施しており、卒業までに鑑賞できない児童 度は年2校で伝統芸能鑑賞を実施する。また、学校の	コスト								
□ 休止·廃止 □ 完了	状況によっては時間や場所する。	Fの調整が困難な場合があるため、開催方法の検討を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	削減維持増加								
	, ,		向上								
⑤改革改善案を実施する上で解決す	すべき課題		成果 維持								
	低下										
学校、実施団体へ事業効果や要望る	校、実施団体へ事業効果や要望を確認し、よりよい形で見直しを行う。 (廃止・休止、完了の場合は記入不要)										

事	業番号	事務事業	名	市美展開	市美展開催事業					管課	名	孝	有部生涯学習課	所属長名	永松 学		
		方向性	4	新たな可能	新たな可能性に挑む ·					ブルー	-プ名	生涯学習推進係					
		重点施策	2	市民が主	市民が主役!チャレンジを応援する					根拠法令等 第3期廿日市市教育振興基本計画							
		施策方針	1	スポーツャ	スポーツや趣味などの身近な挑戦の支援				基本事業 2 文化・芸術活動の支援								
_	* *****	会計	会計 01 款 09 項 05 目					02	事業1	事業2 経·臨 予算上の事業名							
Ť	算科目	一般会詞	Ħ	教育	ŧ	社会教育	費	文化振興費	Ì	001	01	経	文化振興事業				

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
	ギャラリーで美術展を開催する。	昭和30年代~ 廿日市町時代に美術協会が中央公民館で美 術展を開始した。
□ 単年度のみ		

□ 単年度のみ										
2 事務事業の対象・意図・活動・	成果指標									
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	市美展の開催回数	回	目標 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
市美術展の開催	\rightarrow	1			目標実績					
		ゥ			目標実績					
					天視					
対象(誰、何を対象にしているのか	(۱ر	対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	人口(4月1日時点)	人	見込	116,866	116,866	116,866	116,866	116,866
					実績	116,248	115,984	115,658		
・市民・芸術活動をしている市民	\rightarrow	イ 美術協会会員数	人	見込実績	180 176	180 174	180 172	180	180	
- 芸術活動をしている印氏					夫根 見込	176	1/4	172		
	\rightarrow	ゥ	ウ		実績					
							· ·		-	
意図(対象をどのような状態にしたい)	のか)	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	 出品作品数	点	目標	200	200	200	200	200
			шштгшж	711	実績	184	163	167		
芸術活動に親しむ市民が増える	\rightarrow	1	 市美展の来場者数	人	目標	1,800	1,900	1,800	1,800	1,800
A M A M A M A M A M A M A M A M A M A M	•				実績	1,854	1,610	1,634		
	\rightarrow	ゥ			目標実績					
					天視					

結果(結びつく施策の意図は何か)

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	٦	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、	%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
ア	,	美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	90	実績	50.5	52.3	50.7		
	,	はつかいち美術ギャラリーの来場者		目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
•	1	数	^	実績	32.140	24 607	38 253		

3 #	▶務事業の予算・コス	ト一体安						
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)	
H	事業費(A) (円)	557,999	558,000	558,000	558,000	0	558,000	
	国庫支出金					0		
財	県支出金					0		
源内	市債					0		
訳	その他特財					0		
	一般財源	557,999	558,000	558,000	558,000	0	558,000	
業系	烙延べ時間 (時間)	80	100	80	80	0		
	人件費(B)(円)	351,000	426,000	349,000	354,000	5,000	0	
Ţ	ータルコスト(A+B)	908,999	984,000	907,000	912,000	5,000	558,000	
	主な	は支出項目	令和	日6年度(決算)		備考		
市美	展開催業務委託料			558,000 円				
				円				
				円				
				円				

事業番号	事務事業名	市美展開催事業	所管課名	教育部生涯学習課
------	-------	---------	------	----------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。
コロナ前の平成30年度は219点(第55回の特別展、重複出品あり)の出品、入場者数1、935人、令和元年度は202点の出品、入場者数2、041人。出品数は減少傾向にあるが、200点前後で推移している。入場者数は、隣接するホールでのイベントの実施状況により変動し、特に令和2・3年度の生涯学習フェスティバルの延期の要素が大きい。
受託団体会員の高齢化

② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取 ③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。 出品申込方法をグループでまとめて申込みし、会と協議しながら、毎年、次年度開催に向けた改善を行っている。 令和後で推移している。人場者数は、隣接するホールでのイベントの実施状況により変動し、特に令和2・3年度の生涯学習フェスティバルの延期の要素が大きい。 令和5年度は、出品対象を高校生以上に、「デザイン」分野を新設し、対象と分野を拡大した。

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

J :	尹未計画(下州 0 千及次异)	グ肝臓/								
	①政策体系との整合性(この事	事務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	市民の芸術発表の場として文化振興に寄与している。							
目	☑ 結びついている	説明	市民の云柳光衣の場合して文化振典に寄与している。							
的妥	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)									
当	□ 見直し余地がある	理由	市民全体の文化振興を図る事業である。							
性評	☑ 妥当である	説明	市氏主体の文化振典を図る事業である。 							
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)									
	□ 見直し余地がある	理由	 作品の質の向上にも着目する必要はあるが、市民が芸術活動に親しむことを第一の目標としている。							
	☑ 適切である	説明	TFmの負の円工にも自日する必要はめるが、川氏が云州占判に税しもことを第一の日保としている。 							
	④成果の向上余地(成果向上	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)							
	☑ 向上余地がある	理由	 令和4年度は生涯学習フェスティバルを同時に開催し、直近2年度と比べて来場者が増加した。会期中に							
	□ 目標水準に達している	説明	周辺で他のイベントがなくても、多くの市民の方に来てもらえるよう広報などを工夫する必要がある。							
有効	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)									
性	□ 影響がない	理由	 長年実施していることにより、市民に事業が浸透・定着しており、廃止の影響は大きい。							
評価	✓ 影響がある	説明	及生失心していることにより、中氏に事未が反应を指しており、廃血の影音は八さい。							
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)									
	□ 改善余地がある	理由	地域ごとの展示の場はあるが、市全体で類似の事業が他にない。							
	☑ 改善余地がない	説明	2000年末が1000000000000000000000000000000000							
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)							
効	□ 削減余地がある	理由	 美術協会に委託して実施している。展示に係る経費のみであり、削減が困難である。							
率性	☑ 削減余地がない	説明	大門							
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	減余地(瓦	t果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)							
価	□ 削減余地がある	理由	最低限の人員で対応している。							
	☑ 削減余地がない	説明	政内がシステムが応じている。							
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化系	⇒地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)							
性	□ 見直し余地がある	理由	 (中学生以下を除く)市民、市内在勤・在学・活動者が対象の事業であり、公平である。							
評価	☑ 公平・公正である	説明	ハーチェットで呼びいかないからは知 はず 石刻石がバネッチ末でのパムーでのの。							
_	+#====================================									

6 事業評価	の総括と	今後のカ	向性								
①上記の評	西結果					②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠					
A 目的	学当性	√ ;	適切		見直しの余地有り			_			
B 有効	Ė	;	 適切	V	改善の余地有り	毎年度同時期に開催することにより、美術活動をする つながっている。	市民にとってモチベーションの一つに				
C 効率	Ė	∀ ;	 適切		改善の余地有り	本事業の実施は、廿日市市美術協会へ委託している 展示作業等の継続が困難な時期を迎える可能性があ					
D 公平	ŧ	∀ ;	 適切		見直しの余地有り	放小 F未寺の秘殻が凶無な時期を迎える可能住かる 	かることが想定される。				
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可					数選択可		4)改革	草改善案によ	る成果・コストの期	待効果	
□ 拡充	V	現状維持	持			今後の改革改善案					
□目的理	設定 🗌	改善							コスト		
□ 休止・	· 隆止	完了							削減維持増加	カロ	
								向上	:		
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題								成果維持			
								低下			
							()	発止・休止、気	記了の場合は記入る	个要)	

												="				
事業番号	事務事業	名	文化協会	文化協会補助金							所管課名 教育部生涯学習課 <mark>所属長名</mark>					
	方向性	4	新たな可能	たな可能性に挑む						<mark>係・グループ名</mark> 生涯学習推進係						
	重点施策	2	市民が主	役!元	チャレンジを	応援	する	根拠法令等 第3期廿日市				廿日市市教育振興基本計	市市教育振興基本計画、廿日市市文化協会補助金交付要綱			
	施策方針	1	スポーツャ	や趣味	などの身	丘な挑	送戦の支援	基本	事業	2	2 文化・芸術活動の支援					
7 M 1.1 D	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業1	事業2	経·臨 予算上の事業名					
予算科目	一般会	H	教育費	教育費 社会教育費 文化振興費						51	経	文化振興事業(政策)			

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し	加盟団体各分野相互の交流と文化活動の振興を図り、廿日市市内の文	
,	化の発展に寄与することを目的として結成された廿日市市文化協会に対し補助金を交付する。 主な事業内容:文化祭(各支部)、文化講演会、社会貢献事業、優秀映画 鑑賞推進事業、各種文化事業(合唱祭、平和コンサート等)への協力、け	平成6年度
□ 単年度のみ	んみん文化祭への参加	

鑑賞推進	事業.	各種	宗(合文部)、又化講演会、任会員献引 文化事業(合唱祭、平和コンサート等) stm							
□ 単年度のみ		1079	· Лц							
主な活動内容	1	活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	文化協会への補助金支出	円		3,987,000 3,827,070		3,987,000 3,987,000	3,987,000	3,987,000
廿日市市文化協会への補助金支出	\rightarrow	1			目標 実績					
	\rightarrow	ゥ			目標 実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)	1	計争	指標(対象の規模)	出点	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
対象(誰、何を対象にしているのか)			 	里12	見込		1,400	1,200	1,200	1,200
		,	云貝数(凹体・凹入の総数)	四体(人)	実績	1,189	1,149	1,104		
廿日市市文化協会	\rightarrow	イ			見込 実績					
	\rightarrow	ゥ			見込 実績					
	-					1				
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度) I	単位	区分 目標	4 年度 12	5 年度 14	6 年度 15	7 年度 15	8 年度 15
	\rightarrow	ア	事業の実施回数	回	実績	14	15	13		10
市民の文化の発展に寄与する事業を創 意工夫して実施する	\rightarrow	1			目標実績					
	\rightarrow	ゥ			目標実績					
	_				夫禎					
結果(結びつく施策の意図は何か)		施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
生涯を通じてスポーツや学びへの意欲	\rightarrow	ア	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、 美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	%	目標 実績	45.0 50.5	46.0 52.3	47.0 50.7	48.0	48.0
を持つ					目標	22.0	52.0	55.7		

施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
٦	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、	%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
,	美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	90	実績	50.5	52.3	50.7		
,			目標		_			
1			実績					

3 #	₿務事業の予算・コス	ト似安					
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
Pil	事業費(A) (円)	3,796,010	3,827,070	4,187,000	3,987,000	-200,000	3,987,000
	国庫支出金					0	
財	県支出金					0	
源内	市債					0	
訳	その他特財					0	
	一般財源	3,796,010	3,827,070	4,187,000	3,987,000	-200,000	3,987,000
業系	務延べ時間 (時間)	30	30	30	30	0	
	人件費(B)(円)	131,000	127,000	131,000	133,000	2,000	0
7	ータルコスト(A+B)	3,927,010	3,954,070	4,318,000	4,120,000	-198,000	3,987,000
	主な	は支出項目	令和	日6年度(決算)		備考	
ΗE	市市文化協会補助金	金		3,987,000 円			
				円			
[円			
[円			

事業番号	事務事業名	文化協会補助金	所管課名	教育部生涯学習課
------	-------	---------	------	----------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
会員数の減少、少子高齢化、人口減少	補助金の使途や実施事業の見通し等ヒアリングを行った。 今後も、文化協会の事業の方向性を話し合う場を設ける予定である。	特になし

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

5 =	尹未许仙(卫仙 0 千戊次异)	の計画/	
	①政策体系との整合性(この事	事務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)
	□ 見直し余地がある	理由	市民主体の文化振興を図る上で、市の施策に結びついている。
目	☑ 結びついている	説明	市氏主体の文化振典を図る工で、市の他来に結び りいている。
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)
当性	□ 見直し余地がある	理由	市の文化振興のために、地域主体で実施するものであり、関与は妥当である。
性 評	☑ 妥当である	説明	の文化振典のために、地域主体で実施するものであり、関子は安当である。
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)
	☑ 見直し余地がある	理由	 今後も人口減少や少子高齢化に伴い会員数は減るものと予想され、見直しも検討する必要がある。
	□ 適切である	説明	7 後も八日 減少 ピッナ 同断 にに けい 安良 数は 減るものと ア ぶこれ、 元直しも快的する必安かのる。
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)
	□ 向上余地がある	理由	 新型コロナウイルスの影響が残る中でも、予定していた事業を実施することができた。
	☑ 目標水準に達している	説明	初生コロググイルへの影音が残る中でしてずたしていて事末を失心することができた。
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)
性	□ 影響がない	理由	総合的な文化団体としては市内で唯一の団体であり、文化協会がこれまで市民の文化の発展に寄与して
評価	✓ 影響がある	説明	きた役割は大きい。
	⑥類似事業との統合や連携による改善	善余地(類似෧	事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)
	☑ 改善余地がある	理由	総合的な文化団体としては市内で唯一の団体であるが、(公財)廿日市市芸術文化振興事業団との連携等
	□ 改善余地がない	説明	により事業のすみ分けや効果的な事業への見直しの余地がある。
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)
効	☑ 削減余地がある	理由	補助金の有効活用について協議する。
率性	□ 削減余地がない	説明	
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	減余地(瓦	戊果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)
価	□ 削減余地がある	理由	最低限の人員で対応している。
	☑ 削減余地がない	説明	政内がの人員で対応している。
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化系	地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)
性	☑ 見直し余地がある	理由	 会員以外の多くの市民へ還元されるような事業内容への見直しを検討する必要がある。
評価	□ 公平・公正である	説明	五尺のパックへの中の一座ルビルでののアを手来です。 マルビしとは、17 でかくが 000。
	ちまま たるめばしる必る しし 」		

0 7	未計画の称	ЩC.	が扱い力門	<u> </u>						
①上	記の評価結果	Į				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠			
Α	目的妥当性		□ 適切	~	見直しの余地有り					
В	有効性		□ 適切	V	改善の余地有り	 市民の文化振興を図るうえでは必要な支援であるが。	、補助	金額や団	体が実施する事	業内
С	効率性		□ 適切	V	改善の余地有り	容について見直していく必要がある。				
D	公平性		□ 適切	V	見直しの余地有り					
3今	後の事業の方	5向性	上(改革改善	案)・・・複	数選択可		4改章	革改善案によ	る成果・コストの期行	待効果
	拡充		現状維持			今後の改革改善案				
	目的再設定	V	改善			文化協会が担うべき役割を明らかにし、他団体との連 等について見直しを検討する。			コスト	
	休止·廃止		完了					\longrightarrow	削減維持増加	10
5改	革改善案を実	施す	る上で解決	すべき課題	題			向上 成果 維持		
補助:	金の見直しに	関す	る団体との	協議			()	低下 ^{廃止・休止、} 完	記了の場合は記入不	下要)

											•				
事業番号	事務事業	名	文化振興	文化振興事業 i						所管課名 教育部生涯学習課				永松 学	
	方向性	4	新たな可能	たな可能性に挑む						<mark>係・グループ名</mark> 生涯学習推進係					
	重点施策	2	市民が主	役!ラ	Fャレンジを	応援	する	根	根拠法令等 第3期廿日市市教				基本計画		
	施策方針	1	スポーツヤ	5趣味	などの身边	丘な挑	戦の支援	基本	事業	2	文化				
	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業1	事業2	² _{経・臨} 予算上の事業名				
予算科目	一般会	it .	教育費	ŧ	社会教育	育費	文化振興費	Ì	001	01	経	文化振興事業			

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
		商工部門が小学校1年生全員にけん玉を配布 するようになってから教室を開始した。
□ 単年度のみ	THE POST INTERPEDIATE POST AND TO STATE OF THE POST AND T	

□ 単年度のみ		-,,,0	碑即で派追りる。 时间は40万任 及							
2 事務事業の対象・意図・活動・成果指	標					•				
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年月
	\rightarrow	ア	けん玉教室の実施校数	校	目標 実績	17 17	17 16	17 17	17	17
小学校1年生を対象としたけん玉教室の 実施	\rightarrow	1			目標 実績					
	\rightarrow	ゥ			目標 実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8年
333,422,133,120,13					見込	1,093	1,029	1,046	1,050	1,050
	\rightarrow	ア	小学校1学年の児童数	人	実績	1,029	1,046	1,050		
市立小学校1年生	\rightarrow	1			見込実績					
	\rightarrow	ゥ			見込					
					実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8年
		_			目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
小学校1年生がけん玉に親しみ、地域	\rightarrow	ア	けん玉教室参加児童数	人	実績	1,026	941	1,046		
の伝統文化に関心を持つ	\rightarrow	1			目標					
継続して伝承文化に触れ、関心を持つ 市民が増える		•			実績					
コスが占んる	\rightarrow	ゥ			目標 実績					
						, .	, .	, .		
結果(結びつく施策の意図は何か)		施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8年
生涯を通じてスポーツや学びへの意欲	\rightarrow	ア	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、 美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	%	目標 実績	45.0 50.5	46.0 52.3	47.0 50.7	48.0	48.0
上海で湿してハハーノドナい、9000以				+	J 130	00.0	0L.0	00.7		

を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
→	٦	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、	%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
	,	美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	70	実績	50.5	52.3	50.7		
→	,			目標					·
	1		ĺ	宝績					

3 #	事務事業の予算・コス	ト恢安							
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
Ą	事業費(A) (円)	75,520	89,560	84,980	89,700	4,720	94,520		
	国庫支出金					0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財					0			
	一般財源	75,520	89,560	84,980	89,700	4,720	94,520		
業剂	烙延べ時間 (時間)	25	30	30	30	0			
	人件費(B)(円)	109,000	127,000	131,000	133,000	2,000	0		
1	ータルコスト(A+B)	184,520	216,560	215,980	222,700	6,720	94,520		
	主な	は支出項目	令和	116年度(決算)	備考				
けん	,玉教室講師謝礼			89,700 円	報償費84960円+費用弁償4740円				
				円					
				円					
Ī				円					

							ı					
事	業番号 事務事業	Ě名		文化振興事業		所管課名	教育	部生涯学習課				
4 1	事務事業の環境変化・住民意見	1 44										
① 等)	事務事業の環境を化・住民感力 事務事業を取り巻く状況(対象者 はどう変化しているか。開始時期 比べてどう変わったのか。	や根拠法			までの改革・改善の取	会、事業対象を		等)からどんな意				
	-			-		毎年度、児童な	「開催を心待ち	にしている。				
5 }	事業評価(令和 6 年度決算	の評価)										
	①政策体系との整合性(この事	務事業の	目的は市の政策	体系に結びついて	いるか。意図することが	結果に結びつい	ているか。)					
目	見直し余地がある✓ 結びついている	理由 説明	地域の伝承文化	とに触れ、ふるさとへ	への愛着を育むことがで	きる事業である	0					
的	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)											
妥当性評	見直し余地がある✓ 妥当である	理由 説明	市の特産品であ	るけん玉へ関心を	持ち、文化を継承してい	く面でも、市の♀	事業として適して	ている。				
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)											
	見直し余地があるぶ切である	理由説明			己布したけん玉に親しむ	事業であり適切	である。					
	④成果の向上余地(成果向上)	 の金地はな	 いか。 成果を向	トさせる有効な手段	はないか、何が原因で	が が 成 型 が 向 トした	いのか。)					
有効性評!	□ 向上余地がある ☑ 目標水準に達している	理由説明			こされており、実施後も			いる。				
	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務重業:	<u> </u> を廃止 ■休止 <i>t-</i>	場合の影響の有無	け 日的を達成するに	ナ この事務事業	*************************************	-tal (4))				
	□ 影響がない▽ 影響がある	理由説明		<u></u>	であり、継続して実施す			10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1				
価	⑥類似事業との統合や連携による	 改善余地(類似事業(市の事	業に限らない)はない:	か。類似事業との統合や資	車携によって成果	をより向上させる。	ことはできないか。)				
	□ 改善余地がある □ 改善余地がない	理由説明			身近に感じるには本事							
	⑦事業費の削減余地(成果を	 下げずに什	│ ·様や工法の見 i	1. 住民の協力など	で事業費を削減できな	にか。)						
効率	□ 削減余地がある	理由説明		ま師への謝礼のみであり、最低限の予算で実施している。								
性評	✓ 削減余地がない⑧ 人件費(延べ業務時間)の貨	 減余地(引	 	を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)								
価	□ 削減余地がある☑ 削減余地がない	理由説明	最低限の人員で		H & B C C - 1/1 H H H							
公	②受益機会・費用負担の適正化余	(事業内	 容が「対象」の全は	ななく、一部の受益を	がに偏っていないか。 受益	者負担は公平・公	正となっているか	\)				
平性評	□ 見直し余地がある	理由説明			公平性が保たれている			07				
<u>価</u>	☑ 公平・公正である 事業評価の総括と今後の方向†											
	→ 未計画の総品と→ 後のカドリ ・記の評価結果	_		②全体総括(振り過	5り・成果・反省点)・ 評(価結果の根拠						
	. 目的妥当性 ☑ 適切		 見直しの余地有り									
	3 有効性 ☑ 適切				を学ぶことにより、けん うることは将来のまちづ			興味を持ち、ふる				
	· 効率性 ✓ 適切 - 小平性 ✓ 海切		改善の余地有り 見直しの余地有り			1272 0-14						
	公平性 ☑ 適切後の事業の方向性(改革改善)					A H	古み盖安に トスぱり	果・コストの期待効果				
		不/ 下版第	사조기(비	今後の改革改善	E 家	4 50	十以古米1~よの以	▲ □ヘロの物付別米				
L	· · - · · · · · · · · · · · · · · ·			/ 仪V以平以				コスト				
	」目的再設定 □ 改善] 休止·廃止 □ 完了						削減	成維持 増加				

成果維持 ⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題 低下 -(廃止・休止、完了の場合は記入不要)

事業番号	事務事業	名	廿日市市	芸術ス	文化振興事	業団	補助金	所	f管課	名	孝	対育部生涯学習課	永松 学		
	方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係・ク	ブルー	プ名	生涯学習推進係				
	重点施策	2	市民が主	役!ラ	チャレンジを	·応援	する	根	処法令	等	第3期廿日市市教育振興基本計画、公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団補助金交付要綱				
	施策方針	1	スポーツヤ	5趣味	などの身近	£な挑	戦の支援	基本	事業	2	文化・芸術活動の支援				
7 M 1 0	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業1	事業2	経·臨	予算上の事業名			
予算科目	一般会計 教育費 社会教育費 文化振興費			Ì	800	01	経 廿日市市芸術文化振興事業団補助事業			甫助事業					

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		交付開始:平成9年度 平成6年に(財)廿日市市文化スポーツ振興事業団と
(年度~年度)	め、市民の他種多様なニーズに対応した、自主的な文化事業を展開している。 いる。	して設立 平成18年度から文化ホール、美術ギャラリー、ス ポーツセンターの指字管理(平成21年度からはオー
□ 単年度のみ		平成30年度から(公財)廿日市市芸術文化振興事業 団に名称変更

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	7	事業団への補助金支出		目標	38,070,000	38,070,000	37,931,000	35,587,000	35,587,000
	_	,	事業団への補助並又山	円	実績	28,380,395	32,636,368	31,888,651		
安定して事業を実施するため、(公財)	\rightarrow	_			目標					
廿日市市芸術文化振興事業団への補 助金支出		1			実績					
30 亚人山		ь			目標					
	ightarrow brack	')			実績					
	_									

対象(誰、何を対象にしているのか)
(公財)廿日市市芸術文化振興事業団

	対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	٩	役員数(理事·評議員等)		見込	14	14	14	14	14
	`		^	実績	13	12	10		
	1	事務局職員数(管理部門)	人	見込	4	4	4	4	4
	τ-			実績	5	5	5		
٠	4			見込					
)			実績					

市民の文化活動の普及高揚を図るた め、文化事業を自主的・効率的に展開て
きる体制を整える

意図(対象をどのような状態にしたいのか)

I	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	٦	理事会の開催回数		目標	5	5	5	5	5
	,		Ш	実績	4	3	4		
	,	評議委員会の開催回数		目標	2	2	2	2	2
	τ-			実績	1	1	1		
	-			目標					
				実績					

結果(結びつく他束の意図は何か)
生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	7	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、 美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
→	,		70	実績	50.5	52.3	50.7		
→	,	文化施設の整備及び活動の支援の満足度	ポイント	目標	3	3	3	3.20	3.20
→	1			実績	3.06	3.17	3.10		

<u> </u>	3 争物争未のア身・コスト似安											
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)					
Pi	事業費(A) (円)	32,034,699	28,380,395	32,636,368	31,888,651	-747,717	35,587,000					
	国庫支出金					0						
財	県支出金					0						
源内	市債					0						
訳	その他特財	1,300,000				0						
	一般財源	30,734,699	28,380,395	32,636,368	31,888,651	-747,717	35,587,000					
業剂	烙延べ時間 (時間)	60	60	60	80	20						
,	人件費(B)(円)	263,000	255,000	262,000	354,000	92,000	0					
Ż	ータルコスト(A+B)	32,297,699	28,635,395	32,898,368	32,242,651 -655,717 35,587							
	主な	ま支出項目	令和	16年度(決算)	備考							
(公)	財)廿日市市芸術文化	比振興事業団補助金	3	1,888,651 円								
				円								
				円								
				円								

事業番号	事務事業名	廿日市市芸術文化振興事業団補助金	所管課名	教育部生涯学習課
于不田勺	予加予 未省	11日中中女的人已派天子不且而必业	171 E IN 'LI	

4	事務事業	の環境変化・	·住民意見等
---	------	--------	--------

②この事務事業に関するこれますり組み経緯 事業者との定例会議の実施	での改革・改善の取 ③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。	
		事業者との定例会議の実施

事类预压(合和 ε 左座沟管の预压)

5 €	事業評価(令和 6 年度決算)	の評価)							
	①政策体系との整合性(この事	3務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)						
	□ 見直し余地がある	理由	 市民の文化活動の普及振興を図るために設立された団体を支援することにより、市民の文化振興に寄与						
目	☑ 結びついている	説明	している。						
的	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)						
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	市の責任の元、市民一人ひとりの文化的素養を高め、文化力を活かしたまちづくりを進める必要がある。						
性評	☑ 妥当である	説明	中の真性の元、中氏一人のとりの文化的糸食を高め、文化力を治かしたようラベッを進める必要がある。 						
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)								
	□ 見直し余地がある	理由	文化事業を組織的に行うために適切である。						
	☑ 適切である	説明	大工事業を組織的に1] がために辿りてめる。						
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)						
	□ 向上余地がある	理由	目標値を達成している。						
	✔ 目標水準に達している	説明	日保恒を建成している。						
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)						
性	□ 影響がない	理由	 市民の文化芸術活動の拠点となる施設を運営し、専門的見地から計画的に事業を実施しており、廃止した						
評価	✓ 影響がある	説明	場合の影響は大きい。						
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)								
	□ 改善余地がある	理由	 文化芸術活動を総括する市内唯一の団体であり、他の団体や方法で実施できないものである。						
	☑ 改善余地がない	説明	人に去雨石動を心口する中では、 の回体であり、 他の回体でガムで失心できない 0のである。						
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)						
効	□ 削減余地がある	理由	組織の管理運営に対する補助金であり、現時点で削減は困難であるが、効率的な運営に向けて点検・評						
率性	☑ 削減余地がない	説明	価していく必要はある。						
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	減余地(瓦	成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。) 						
価	□ 削減余地がある	理由	最低限の人員で対応している。						
	☑ 削減余地がない	説明	政内はの人会に対応している。						
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化分	₹地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)						
性	□ 見直し余地がある	理由	当事業の対象者は団体に限定されているが、対象者が行う事業については市民全体を対象としたもので						
評価	☑ 公平・公正である	説明	න ිය.						

【単証価の終年と会後の方向性

0 7	未計画の修訂	<u>nc</u> -	<u> 71女ツ</u>	7J [H] [<u> </u>										
①上i	記の評価結果	Į						②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠						
Α	目的妥当性		V	適切	Γ		見直しの余地有り								
В	有効性		V	適切	[改善の余地有り	 市の文化振興を総合的に担う唯一の組織であり、適切な事業であるが、当該財団が指 管理を受けている文化ホール、美術ギャラリーの管理運営と合わせて今後の文化振興 推進体制を検討していく必要がある。							
С	効率性		✓	適切]		改善の余地有り								
D	公平性		✓	適切	1		見直しの余地有り								
3今	後の事業の方	向性	主(改革	改善	案)•••	複数	 数選択可		4)改革	直改善案によ	る成果・コストの)期待効	果		
	拡充	V	現状約	維持				今後の改革改善案							
	目的再設定		改善		1						コスト				
	休止·廃止		完了		1						削減維持	増加			
					<u> </u>					向上	++				
⑤改 3	革改善案を実	施す	る上で	で解決で	すべき	課題	且			成果維持	 	$\langle \rangle$			
									/ F	低下			,		
									()3	発止*11水止、π	記了の場合は記	人个安	,		

=	事業番号	事務事業	名	さいき文化	とセン	ター管理運	所	管課	名	孝	永松 学							
		方向性	4	新たな可能	折たな可能性に挑む							<mark>係・グループ名 </mark> 生涯学習推進係						
		重点施策	2	市民が主	市民が主役!チャレンジを応援する						等	第3期廿日市市教育振興基本計画、廿日市市さいき文化センター設置及び管理条例						
		施策方針	1	スポーツヤ	や趣味	などの身边	fな挑	戦の支援	基本	事業	2	2 文化・芸術活動の支援						
	7 M 1.1 D	会計 01 款 09 項 05 目						04 事業1 事業2 経·臨 予算上の事業名			:名							
	予算科目	一般会詞	†				文化センター	費	002	01	経	さいき文化センター管	管理運営事	業				

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
	地域の生涯学習及び文化芸術活動の振興を図るとともに、市民の交流を	
┃	17	平成19年4月1日開館
	習、文化振興及びまちづくりに関する事業を行う。	

2 事務事業の対象・意図・活動・成果	指標									
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年月
	\rightarrow	ア	修繕・工事の実施件数	件	目標	8	8	8	8	8
			1541 = 1 454,511 54	<u> </u>	実績	5	2	2		
さいき文化センターの維持管理 さいき文化センターの運営	\rightarrow	1			目標 実績					
CV CARCOTO WEE					目標					
	\rightarrow	ウ			実績					
LA (=4	_		北 坪(北 久 久 日 世)	124 LL		4 5 5		2 5 5	- 	٥. ٣
対象(誰、何を対象にしているのか)		对家	指標(対象の規模) I	単位	区分	4 年度	5 年度 116.866	6 年度	7 年度 116.866	8年 116.86
	\rightarrow	ア	人口(4月1日時点)	人	見込 実績	116,866 116.248	115,866	116,866 115,658	110,800	110,80
市民			######################################	 	見込	9,350	9.127	8.968	8.968	8.968
市民(佐伯地域)	\rightarrow	1	佐伯地域の人口(4月1日時点) 	人	実績	9,127	8,968	8,672		
	\rightarrow	ゥ			見込					
					実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年
		ア	さいき文化センター(ホール、市民セ		目標	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
		,	ンター、図書館)の年間利用者数	人	実績	54,368	53,310	56,338		
利用者が安心して快適に利用できる	\rightarrow	1			目標				٠	
				-	実績					
	\rightarrow	ゥ			目標 実績					

結果(結びつく施策の意図は何か)

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	7	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、	%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
•	,	美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	90	実績	50.5	52.3	50.7		
	,	文化施設の整備及び活動の支援の	ポイント	目標	3	3	3	3.20	3.20
•	1	満足度		実績	3.06	3 17	3 10		

	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
Ę	事業費(A) (円)	23,935,318	28,252,050	26,456,316	33,285,910	6,829,594	32,725,000		
	国庫支出金	1,062,160				0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財	617,298	1,083,043	1,237,009	1,016,379	-220,630			
	一般財源 22,255,860		27,169,007	25,219,307	32,269,531	7,050,224	32,725,000		
業務	業務延べ時間 (時間) 1,200			1,200	1,200	0			
	人件費(B)(円)	5,268,000	5,118,000	5,241,000	5,320,000	79,000	0		
-	ータルコスト(A+B)	29,203,318	33,370,050	31,697,316	38,605,910	6,908,594	32,725,000		
	主な	は支出項目	令和	和6年度(決算)	備考				
維持	管理業務委託料		1	0,262,413 円					
エレ	ベーター修繕			1,969,000 円					
光熱	水費			4,087,834 円					
燃料	費			2,689,302 円					

事業番号	事務事業名	さいき文化センター管理運営事業	所管課名	教育部生涯学習課

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	* i= * i= i	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
		・スポーツに比べて文化に関連する予算が少ないのではないか。(R4決特)

5 4	事業評価(令和 6 年度決算	の評価)								
	①政策体系との整合性(この事	事務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)							
	□ 見直し余地がある	理由								
目	☑ 結びついている	説明	佐伯地域を中心に市民の文化・学習活動を応援する事業である。							
的	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)									
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	キロのカルズ科でが労驭活動の土垣は土がたるまたがもて							
性評	☑ 妥当である	説明	市民の文化活動及び学習活動の支援は市が行う責任がある。 							
価	③対象・意図の妥当性(事務事	事業の現状	・ や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	佐伯地域及び全市民を対象として行う文化センターの管理運営であり、適切である。							
	☑ 適切である	説明	佐旧地域及び主巾氏を対象として1プ文化センターの官理連名であり、週切である。 							
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)							
	☑ 向上余地がある	理由	新型コロナウイルフの影響に トリニー 数年利田老が減小した。							
	□ 目標水準に達している	説明	f型コロナウイルスの影響によりここ数年利用者が減少した。							
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)							
性	□ 影響がない	理由	・心ははには毎と記述を思うし、まなの事をはってからまできまってってし、立ててと郷はよさい							
評価	✓ 影響がある	説明	佐伯地域には舞台設備を伴うホール及び図書館はこの施設のみであり、廃止の影響は大きい。 							
	⑥類似事業との統合や連携による改善	善余地(類似	- 事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)							
	□ 改善余地がある	理由	佐伯地域に唯一の施設であり、類似事業との統合は困難である。							
	☑ 改善余地がない	説明								
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	- 様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)							
効	□ 削減余地がある	理由	 施設の運営に必要な最低限の維持管理費が主であり、これ以上の削減は難しい。ネーミングライツ収入等							
率性	☑ 削減余地がない	説明	財源の確保をしており、今後も継続できるよう努める。							
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	川減余地(瓦								
価	□ 削減余地がある	理由	会計年度任用職員の活用を図っており、更なる削減は困難である。							
	☑ 削減余地がない	説明	云計平及世州戦員の活用を図っており、更はる削減は困難である。 							
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化分	注地(事業内	- 容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)							
性	□ 見直し余地がある	理由								
評価	☑ 公平・公正である	説明	施設は佐伯地域全体、市民全体を対象としており、公平である。 							
6 l	事業評価の総括と今後の方向や	生								
1	記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠							
^	日的亚当性 🕡 海垣		Ball now to							

ぎであり、現行
ストの期待効果
スト
掛 増加
0
は記入不要)

	6	在由主要	事後評価(決質)	事務事業マネジメントシート
¬¬∧⊔	ח	平尺事夫		事権事事 マベンメントンート

令和7年8月 作成

Juli.	事業番号	事務事業	名	はつかいち	文化ホ-	ール・美術ギ	ル・美術ギャラリー管理運営事業				名	教	教育部生涯学習課 <mark>所属長名</mark> 永松			
		方向性	4	新たな可能	能性に	挑む	Kむ /				-プ名	生涯学習推進係				
		重点施策	2	市民が主	役!ヲ	・ヤレンジを	ャレンジを応援する				根拠法令等 第3所廿日市市教育振興基本計画、はつかいち文化ホール設置及び管理条例、はつかいち実術ギャラリー設置及び管理条例			術ギャラリー設置及び管理条例		
		施策方針	1	スポーツャ	や趣味	などの身	丘な挑	戦の支援	基本	事業	2	文化	文化・芸術活動の支援			
	- Mr. 1.1	会計	01	款	09	項	05	目	04	事業1	事業2	経·臨	予:	予算上の事業名		
-	予算科目	一般会	計	教育	ŧ	社会教育				001	01	経 はつかいち文化ホール等管理運営事業		営事業		

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
	地域における文化芸術活動の充実を図るため、市民が文化に触れる機会を提供するとともに、施設の利用を促進し、文化活動の場を提供する。	
□ 期間限定複数年度	文化ホール:音楽、演劇、伝統芸能、映画等の企画事業の実施、市民による活動	平成9年4月開館 市庁舎の移転に伴い、市役所、図書館との併
	等企画展の開催、市民による展示の場の提供 (公財)廿日市市芸術文化振興事業団に指定管理して運営の効率化を図る。	改旭設として改画

2 事務事業の対象・意図・活動・成果	指標									
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年月
	\rightarrow	ア	文化ホール主催事業の実施回数	口	目標	50	50	50	50	50
		,	(年間)	ū	実績	53	55	67		
・施設の維持管理	\rightarrow	1	美術ギャラリー主催事業の実施回数	回	目標	12	12	12	12	12
・文化芸術事業の実施		- 1	(年間)	1	実績	10	10	19		
	\rightarrow	ゥ			目標			<u>[</u>		L
					実績					
112/24 174112121	7	11 A	ド (エ/+ た るね#\	22///	- ·					a /=:
対象(誰、何を対象にしているのか)	4	对家	指標(対象の規模)	甲位	区分	4 年度				
	\rightarrow	ア	人口(4月1日時点)	人	見込	116,866	116,866	116,866	116,866	116,866
			人口(4月1日時点)	^	実績	116,248	115,984	115,658		
市民、利用者	\rightarrow	1			見込			L	حر	L
1,200,1971,1		•			実績					
	\rightarrow	ゥ			見込			<u> </u>		L
					実績					
TOTAL 18 0 1 7 6 10 60 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-		* E / T C 0 1 + + + + 1	22/ / /	- ·					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	4	成果	指標(意図の達成度)	甲位	区分	4 年度				
		ア	はつかいち文化ホールの年間来場	人	目標	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
			I 중 4N	1	宝结	107 227	100 750	111726		

文化芸術に親しむ人が増える

	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
_	7	はつかいち文化ホールの年間来場	1	目標	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
→ '	,	者数	^	実績	107,327	109,758	114,736		
	,	はつかいち美術ギャラリーの年間来		目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
_	1	場者数	^	実績	32,140	24,607	38,253		
	ф			目標					
_	٠,			実績					

結果(結びつく施策の意図は何か) 生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	マ 日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、		%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
→ <i>Y</i>		美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合		実績	50.5	52.3	50.7		
	,	文化施設の整備及び活動の支援の	ポイント	目標	3	3	3.2	3.20	3.20
→ 1	1	満足度		実績	3.06	3 17	3 10		

3 ∉	3										
	年度	令和3年度決算	令和4年	度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)			
事業費(A) (円) 292,078,718 29		29	1,914,786	303,762,713	302,128,115	-1,634,598	275,704,000				
	国庫支出金						0				
財	県支出金						0				
源内	市債	60,670,000		0	45,500,000	46,134,000	634,000				
訳	その他特財	2,200,000		2,200,000	2,200,000	2,200,000	0	2,200,000			
	一般財源	229,208,718	28	9,714,786	256,062,713	253,794,115	-2,268,598	273,504,000			
業務	孫延べ時間 (時間)	750		690	750	950	200				
,	人件費(B)(円)	3,292,000		2,943,000	3,276,000	4,212,000	936,000	0			
ż	ータルコスト(A+B)	295,370,718	29	4,857,786	307,038,713	306,340,115	-698,598	275,704,000			
	主な	は支出項目		令和	Π6年度(決算)		備考				
	管理委託料			14	1,263,000 円						
庁舎・文化センター清掃・環境衛生維持管理業務委託 料			1	8,360,210 円							
はつ	かいち文化ホール理	見況調査等業務委託鴸	料	2	29,700,000 円						
ウッ	ドワンさくらぴあ大ホ	 :一ル舞台機構設備改	修工事	5	1,260,000 円						

事業番号	事務事業名	はつかいち文化ホール・美術ギャラリー管理運営事業	所管課名	教育部生涯学習課
------	-------	--------------------------	------	----------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
		文化ホール予約方法の利便性向上 施設の計画的な改修

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

	于宋时间(PA) V 一及次升	** H M /										
	①政策体系との整合性(この事	事務事業σ	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)									
	□ 見直し余地がある I おびついている	理由説明	はつかいち文化ホール及びはつかいち美術ギャラリーは、本市の文化振興及び文化交流の拠点、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図るために設置された施設であり、市民憲章で掲げる「文化の香り高									
目			いまち」づくりに直結する施設である。									
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	i i i	っなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。) T									
当性	□ 見直し余地がある	理由	 文化芸術の振興及び公共施設の適正な管理は市が行うべき事業である。									
評	☑ 妥当である	説明	人に女性の拡大人の女人地区の歴史なら生活が217 ですべてのも。									
価	③対象・意図の妥当性(事務事	事業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)									
	□ 見直し余地がある	理由										
	☑ 適切である	説明	全市民が文化芸術に親しむための、文化芸術の振興及び文化交流の拠点施設の管理運営事業である。 									
	④成果の向上余地(成果向上	の余地はな	・ ないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)									
	☑ 向上余地がある	理由	 施設来場者数は回復してきているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、コロナ禍前ほどの利									
	□ 目標水準に達している 説明 用者数には達していない。											
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)									
性	□ 影響がない	理由	市民の文化芸術活動の拠点として利用頻度が高い施設であり、廃止による影響は多大である。									
評価	☑ 影響がある	説明	『正成の大化云闸/右割の拠点として利用頻度が高い地設でのか、廃止による影音は多人である。 									
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)											
	□ 改善余地がある	理由	地域に根付いた文化活動の拠点という側面においては、他に例がない事業である。									
	☑ 改善余地がない	説明	20%に低りいた人に石動の液点という関面に350・では、他に防がです。									
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに作	上様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)									
効	☑ 削減余地がある	理由	 低廉な経費で利用できる施設であり、採算性が見込める事業ではないが、指定管理者選定方法の見直し									
率性	□ 削減余地がない	説明	等により改善の可能性はある。									
評	⑧人件費(延べ業務時間)の質	削減余地()	或果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。) -									
価	□ 削減余地がある	理由	 指定管理者選定方法の見直し等により改善の可能性はある。									
	☑ 削減余地がない	説明	旧た自年日医にガムの元直し中により以合い可能ははめる。									
公平	⑨受益機会·費用負担の適正化:	余地(事業内	日容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)									
性	□ 見直し余地がある	理由	公平に定められた利用料金により利用できる施設であり、適正である。									
評価	☑ 公平・公正である	説明	五十 -足いつイい、イツjのイイ並 -みソイツの くご⊘心改くのり、廻上しのの。									

6 事業	評価の総括	と今後の	方向!	<u> </u>									
①上記の	の評価結果					②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠						
A 目	目的妥当性	V	適切		見直しの余地有り		14-5		A		W - L-		
B 有	 i 効性		適切	V	改善の余地有り	市民の文化芸術活動を支える上で拠点となる重要な が、経費、運営体制、事業内容等において有効性、効	施設で b率性	ごあり、 の改書	、継続す 善の余地	べき事 bがある	業であ 。	る	
C 効	 协率性		 適切	V	改善の余地有り	建築から25年以上経過し、施設の計画的な改修に向 基本方針を策定した。						する	
D 公	D 公平性 ☑ 適切 □ 見直しの余地有り □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □												
③今後の	今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ④改革改善案による成果・コストの期待効果												
□拡		□ 現状維	挂持			今後の改革改善案							
」 拡充									削	コスト 減 維持	1		
@ 3 L ++ 3	向上												
⑤改革改	⑤改革改善策を実施する上で解決すべき課題 成果 成果 維持 ○ ○												
	文化センター棟が庁舎と一体の施設であることやシビック・コア地区整備事業が控えていることから、将来的な施設 のあり方を検討した上で、整備の方向性を検討する必要がある。 (廃止・休止、完了の場合は記入不要)												

事業番号	事務事業	名	さいき文化	さいき文化ホール管理運営事業						名	孝	永松 学				
	方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係・	係・グループ名 生涯学習推進係							
	重点施策	2	市民が主	ひ!チ	ヤレンジを	応援す	する	根	処法令	等	第3期廿日市市教育振興基本計画、廿日市市さいき文化センター設置及び管理条件					
	施策方針	1	スポーツヤ	Þ趣味	などの身近	な挑	戦の支援	基本	事業	2	文化	文化・芸術活動の支援				
7 M 1 D	会計	01	01 款 09 項 05 目							事業2	2 Ak·臨 予算上の事業名					
予算科目	一般会	it	教育費	ŧ	社会教育	費	文化センター	費	003	01	経	さいき文化ホール管理	里運営事業			

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
(年度~年度)	地域内の文化芸術活動の充実を図るため、実行委員会形式により企画連合を行い、コンサート等久種芸術学賞事業の関係。地域住民の創作、練習	平成19年4月1日開館 平成14年度の佐伯町・吉和村との合併後、公民 館を複合施設として建て替えた。
□ 単年度のみ		

	表の場の提供	ŧ等を	行う。	居で	昭で核古旭設として建て首えた。					
□ 単年度のみ										
2 事務事業の対象・意図・活動・	成果指標									
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	 年間の事業実施回数		目標	6	7	8	8	8
			十月の事未失旭邑奴	ū	実績	9	7	8		
さいき文化ホール事業の実施	\rightarrow	1			目標				بر	
					実績					
	\rightarrow	ゥ			目標				حريــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	
					実績					
対象(誰、何を対象にしているのか	\)	対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
					見込		116,866	116,866	116,866	116,866
	\rightarrow	ア	人口(4月1日時点)	人	実績	116,248	115,984	115,658		
∙市民		1	佐伯地域の人口	人	見込	9,350	9,127	8,968	8,968	8,968
・市民(佐伯地域)		7	性旧地域の人口	^	実績	9,127	8,968	8,672		
		ゥ			見込					
	Í				実績					
意図(対象をどのような状態にしたいの	Dh)	成里	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
が四くがあることがある。	7				目標	1,400	1.500	1.100	1.100	1.100
	\rightarrow	ア	ホール主催事業への参加者数	人	実績	1,083	976	1,194		
	144.15.—		> /u = # > # D =		目標	81	82	84.0	84.0	84.0
継続して芸術文化に親しむ市民を	増やず	イ	主催事業の満足度	%	実績	86.5	82.0	84.0		
		_			目標					
	\rightarrow	ゥ			実績					
		16.66		137.71						
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲を

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
→	7	日ごろから文化芸術活動(音楽、演劇、舞踏、	%	目標	45.0	46.0	47.0	48.0	48.0
_	,	美術、伝統芸能、文学など)に親しむ人の割合	90	実績	50.5	52.3	50.7		
	,	文化施設の整備及び活動の支援の	ポイント	目標	3	3	3	3.20	3.20
\rightarrow	1	満足度		実績	3.06	3.17	3.10		

3 1	事務事業の予算・コス	小概要							
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
	事業費(A) (円)	754,443	1,597,812	1,595,439	1,578,758	-16,681	1,600,000		
	国庫支出金					0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財	300,000	300,000	300,000	550,000	250,000	550,000		
	一般財源	454,443	1,297,812	1,295,439	1,028,758	-266,681	1,050,000		
業	殇延べ時間 (時間)	1,200	1,200	1,200	1,200	0			
	人件費(B)(円)	5,268,000	5,118,000	5,241,000	5,320,000	79,000	0		
۲	ータルコスト(A+B)	6,022,443	6,715,812	6,836,439	6,898,758	62,319	1,600,000		
	主な	は支出項目	令和	116年度(決算)	備考				
さい	き文化ホール事業実	施委託料		1,578,758 円					
				円					
				円					
				円					

事業番号	事務事業名	さいき文化ホール管理運営事業	所管課名	教育部生涯学習課
------	-------	----------------	------	----------

う変化しているか。開始時期あるいは5年前と てどう変わったのか。	り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。 ・スポーツに比べて文化に関連する予算が少な
)、チケット収入等事業収入が減少している。	・佐伯高校と連携した事業の実施について、「チャレンジブランコンテスト」「SAEKI QUEST」等の事業を開催した。(津田市民センター共催事業)	

5 }	事業評価(令和 6 年度決算(の評価)										
	①政策体系との整合性(この事	務事業の目	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)									
	□ 見直し余地がある	理由	数本に関すす込売の体質するにすべくすりのさんご動むに関する事業でもる									
目	☑ 結びついている	説明	教育振興基本計画の施策方針に基づく市民の文化活動を応援する事業である。 									
的	②市が関与する妥当性(この事業)	ま市が行わた	。 なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)									
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	市の責任により、市民全体の文化振興、文化的なまちづくりを進める必要がある。									
評	☑ 妥当である	説明	1100 頁はにあり、110以上件の人に拡発、人によりなからしているがながながある。									
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状や	以果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)									
	□ 見直し余地がある	理由	 将来にわたり、地域及び市全体の文化活動に親しむ市民を増やすため、妥当である。									
	☑ 適切である	説明	15人にかたが、ためなびで上げの人間がある。									
	④成果の向上余地(成果向上の)余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)									
	☑ 向上余地がある	理由	主催事業の満足度は、例年80%と高い水準で目標値に到達している。 新型コロナウイルスの影響で、事業の中断によりホール離れしないよう、事業の工夫が必要である。									
	□ 目標水準に達している	説明	新空コロブライル人の影響で、事業の中間によった一ル離れたないなど、事業の工人が必要である。 地域の文化活動の担い手が高齢化することが予想されるため、高校生等若い世代の活動の機会を増やす必要がある。									
有効	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を	 廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)									
性	□ 影響がない	理由	佐伯地域には、このホールが文化活動及び学習活動の拠点となっており、廃止すると影響が大きい。									
評価	✓ 影響がある	説明										
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)											
	□ 改善余地がある	理由	佐伯地域では、地域特性や採算性等から民間事業者による同様の事業はなく、本事業以外にない。									
	☑ 改善余地がない	説明	正旧心場では、心場可は下外井はサルラ氏同事未合にのの同様の事未あるい。									
	⑦事業費の削減余地(成果を下	げずに仕れ	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。) -									
効	□ 削減余地がある	理由	チケット代の増額を行うなど見直しの方法があるが、公益性の高い事業目的や地域特性から効果的な方法と									
率性	☑ 削減余地がない	説明	は言えず、削減の余地がない。									
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(成	果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)									
価	□ 削減余地がある	理由	実行委員会形式で事業を実施しており、最低限の費用で行っている。									
	☑ 削減余地がない	説明	大门安兵公が以て事未と大心してのが、政内内の員用で行うている。									
公平	⑨受益機会・費用負担の適正(2余地(事業	(内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)									
· 性 評	□ 見直し余地がある	理由	地域全体、市民全体を対象とした事業であり、公平である。									
価	☑ 公平・公正である	説明	たる主体、中氏主体と対象とした事業とのが、五十七のも。									
6 7	事業評価の総括と今後の方向性											
1	記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠									
Α	目的妥当性 🗸 適切		見直しの余地有り									

6 事	薬評価の総対	古と今	後のフ	5同性											
①上	記の評価結果							②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根据	処						
Α	目的妥当性		>	適切			見直しの余地有り								
В	有効性			適切	<u> </u>]	改善の余地有り	中山間地域の市民が公平に文化芸術に親しむ機会を	提供し	、市民	民の文	化度を	を生か	したる	まち
С			✓	 適切]	改善の余地有り	・づくりを進める上で必要な事業となっている。 今後は、若い世代へも参加しやすい企画も検討してい。	〈 。						
D	公平性		V	適切]	見直しの余地有り								
3今1	後の事業の方	向性	(改革	改善第	≷)・・・複	数	選択可		④改革	改善乳	案による	成果∙=	コストの	期待效	果
П	拡充	V	現状維	辪				今後の改革改善案							
	目的再設定	_	改善					加してもらうため、ホール、市民センター、図書館機能を 数を生かし、多世代の人が交流できる事業を検討する。					コスト		
	休止·廃止		完了								$\overline{}$	削減	維持	増加	
											向上			_	
⑤改3	革改善案を実	施する	3上で	解決す	トベき課	題				成果	維持		0		
	者のニーズ把										低下	ı	/1.		
佐伯	高校との連携								(身	ē止·付	木止、完	アの場合	合は記	入不要	₹)

年度事業 事後評価(決算) 事務事業マネジメントシート 作成 令和 令和7年8月

事業番号	事務事業	名 図書館管理運営事業						所	f管課	名	教育	部はつかいち市民図書館	所属長名	児玉 英子	
	方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係・ク	<mark>係・グループ名</mark> 図書係						
	重点施策	2	市民が主	市民が主役!チャレンジを応援する							図書館	法、はつかいち市民図書館設置	置及び管理条例	、廿日市市図書館基本計画	
	施策方針	1	スポーツヤ	5趣味	などの身边	丘な挑	戦の支援	基本	事業		市民の知りたい情報を提供できる図書館であること				
3 M 1 D	会計 01 款 09 項 05 目							05	事業1	事業2	経·臨 予算上の事業名				
予算科目	一般会詞	it	教育費	ŧ	社会教育	育費	図書館費		002	01	経	図書館管理運営事業	ŧ		

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
	廿日市市内3館(はつかいち・さいき・大野)で運営を行っている。 休館日は、さいき図書館のみ月曜休館、3館共涌は第4木曜日の月末整理日及び	平成9.4 はつかいち市民図書館開館、図書 館協議会発足
□ 期間限定複数年度 (年度~ 年度)	特別整理期間として年14日以内がある。	平成17.11 大野町図書館をはつかいち市民大
	後19時まで、さいきは午前10時から午後6時までと各館異なる。	令和5.3 はつかいち市民大野図書館が指定 管理制度による運営が開始された。

□ 単年度のみ ¹	俊19吋より	اج ک	יבוב י	午前10時から午後6時までと各館異なる。				制度による			1/3 1 E AC
2 事務事業の対象・意図・活動	助·成果指	標									
主な活動内容			活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
		\rightarrow	ア	開館日(はつかいち・大野・さいきの	日	目標	300	310	324	324	324
				平均開館日数)	I	実績	306.3	324.3	322.7		
図書館運営(資料の閲覧・・貸出	出・レファ	\rightarrow	1	 レファレンス処理件数	件	目標	2,300	2,500	4,100	4,100	4,100
レンス等)						実績	2,442	4,056	4,068		
		\rightarrow	ゥ			目標					
						実績					
対象(誰、何を対象にしているの	のか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
		\rightarrow	ア	来館者数	人	見込	300,000	400,000	550,000	550,000	550,000
四妻始到田老		_	,	木貼 有数	^	実績	402,830	532,246	555,940		
図書館利用者		\rightarrow	1	 個人貸出利用者(実利用者数)	人	見込	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
				四八页面中3/11日(八中3/11日处)		実績	14,048	15,046	14,548		
		\rightarrow	ゥ			見込					
						実績					
意図(対象をどのような状態にした	いのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
		\rightarrow	ア	貸出冊数(個人+団体)	#	目標	600,000	650,000	700,000	700,000	700,000
利用者の知りたい情報を気軽に	こ得ること	_	,	頁出冊数(個人十四体)	ш	実績	645,672	675,417	663,717		
ができている		\rightarrow	1	 リクエスト・予約申込数	m	目標	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
				77-71 1 1117-250	1113	実績	142,290	140,855	142,716		
		\rightarrow	ゥ	 相互貸借申込(借受)数	m	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
					,	実績	1,682	1,464	1,217		
結果(結びつく施策の意図は何	(か)		施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
			ア	図書館を利用する市民の割合		目標	37.0	38.0	39.0	40.0	40.0
生涯を通じてスポーツや学びへ	の意欲	\rightarrow	<i>y</i>	(後期基本計画から市民アンケートで実施)	%	実績	30.8	31.5	31.4		
を持つ			1			目標					
		\rightarrow	1			実績					

2 車数車業の予算・コフト摂雨

3 4	事務事業の予算・コス	い似安					
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
į	事業費(A) (円)	63,466,431	61,754,794	53,064,588	63,200,543	10,135,955	66,038,000
	国庫支出金					0	
財	財 県支出金					0	
源内	市債					0	
訳	その他特財					0	
	一般財源 63,466,431			53,064,588	63,200,543	10,135,955	66,038,000
業系	烙延べ時間 (時間)	7,156	7,156	7,156	7,156	0	
	人件費(B)(円)	31,417,000	30,524,000	31,259,000	31,730,000	471,000	0
1	ータルコスト(A+B)	94,883,431	92,278,794	84,323,588	94,930,543	10,606,955	66,038,000
	主な	支出項目	令和	06年度(決算)		備考	
会計	年度任用職員報酬		4	3,700,387 円			
期末	手当·勤勉手当(会詞	計年度任用職員分)	1	1,832,854 円			
共済	·費(会計年度任用職	i員分)		6,701,532 円			
費用	日弁償(通勤手当相当	i分)		965,770 円			

② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取 ③ この事務事業に対して、関係者(住民、議り組み経緯 会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意 ① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 り組み経緯 見や要望が、どの程度寄せられているか。 前と比べてどう変わったのか。 有休制度の開始や会計年度任用制度に移行したことに H30から大野図書館の司書を仕事の専門性を振り分けて カウンターでの接客等は、どの職員も分かりや 伴い、職員の働き方が多様化している。 非常勤と臨時司書の雇用に切り替えた。 すく丁寧な対応を心がけており、利用者からの 令和3年度までは新型コロナ感染対策の為、臨時休館や はつかいちにおいても、臨時職員(現職種:事務補助員)や 意見等はない。 臨時司書(現職種:事務支援員司書)の中でリーダー的な 役割で働くことを希望した職員は、扶養対象外で勤務する -部サービスの停止、来館数を減らして本を貸出しでき るサービスへ向けた事務改善が必要となった。 また、令和5年3月から大野図書館は指定者管理による 形態に移行し、10時間開館や土日祝日を含む交替勤務に 運営となり、民間ならではのノウハウによる効率化した おいてもチームワークをとりながら効率よく事務を行う体制 サービスが始まった に移行した。

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

	①政策体系との整合性(この事	3務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)
	□ 見直し余地がある	理由	公共図書館は、図書館法に基づき設置された、無料で知識や情報を提供し、市民の知る権利を保障する
目	☑ 結びついている	説明	社会教育機関であり、「身近な挑戦の支援」の方針とも結びついている。
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	 市民の知る権利・学ぶ権利を保障することは、市の責任においてなされるべきである。
評	☑ 妥当である	説明	「日本の名がの情報」 子が情報で 本件を のここは、日の真正にのいてなられる。 ここのも。
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)
	□ 見直し余地がある	理由	「図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号)」に、「学習活動のための施設・設備の供用、資料の提供等を通じ、その活動環境の整備」と定められており、利用者の求めに応じ、
	☑ 適切である	説明	一元 元元 元元 元元 元元 元元 元元 元
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)
	✓ 向上余地がある	理由	 高度化・多様化する図書館サービスへの要請に対応するための、郷土資料その他の特定分野に関する資
	□ 目標水準に達している	説明	料の目録・索引等の整備を進めることで、成果を向上させることができる。
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)
性	□ 影響がない	理由	「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設であり、図書館法(昭和25年法律第118号)
評価	✓ 影響がある	説明	策3条に掲げる事項等の図書館サービスの実施ができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携による改善	善余地(類似₹	事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)
	□ 改善余地がある	理由	高度化・多様化する利用者及び住民の要望に対応するとともに、利用者及び住民の学習活動を支援する機能の充実を図るため、資料や情報の相互利用などの他の施設・団体等との協力を積極的に推進してい
	☑ 改善余地がない	説明	域能の几天を囚るため、資料や情報が怕互利用などの他の心故・団体寺との励力を積極的に推進している。
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)
効	□ 削減余地がある	理由	資料の貸出し等の業務は、個人情報を含んでおり、地域住民等ボランティアによる運営は適さない。 また、レファレンス業務や資料の選書・登録・除籍といった業務は、専門的な知識を持つ職員による運営が
率性	☑ 削減余地がない	説明	市の財産である資料を適正に管理することができる。
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(月	戈果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)
価	✓ 削減余地がある	理由	大野図書館はR5.3月から周辺公共施設と併せて指定管理者による運営となっており、民間手法による人件費等の削減は見込まれる。しかし、事業そのものは、現状のサービスを継続することが当初の要求水準
	□ 削減余地がない	説明	書に盛り込まれており、成果が下がることはない。
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化余	≷地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)
性	□ 見直し余地がある	理由	図書館法(昭和25年法律第118号)第17条において、「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に
評価	☑ 公平・公正である	説明	対するいかなる対価をも徴収してはならない。」と規定されている。

価	☑ 公平・公正で	である		רעי זה	x1 3 @0.10.14@	が一個でも対象してはならない。」と死足されている。				
6 事	事業評価の総括	と今後の	方向性	生						
①上	記の評価結果					②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠			
Α	目的妥当性	✓	適切		見直しの余地有り	 本館の運営方法について、「市の直営だからこそ質の	高い図	図書館サ-	-ビスが提供	たきてい
В	有効性		適切	V	改善の余地有り	る。」と評価されるよう、日々図書館サービスの質的向				
С	効率性		 適切	V	改善の余地有り	員等のワークライフバランスを維持する必要がある。 職員の提案による現場を起点とした事業の効率化や	改善を	実行でき	る体制の整体	備が必要
D	公平性	✓	適切		見直しの余地有り]である。				
3今	後の事業の方向	句性(改革	改善	案)•••複数	效選択可		④改革	改善案によ	る成果・コストの	期待効果
>	拡充] 現状網	掛			今後の改革改善案				
	目的再設定	✔ 改善				役備の供用、資料の提供等を通じ、その活動環境を整 快適に図書館を利活用できる施設・設備等を整える。			コスト 削減 維持	÷ ho
	休止・廃止 [] 完了					-	向上	削減維持」	音加
⑤改	革改善案を実施	色する上で	で解決	すべき課題	1		F	戓果 維持		
	5 自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により指定管理者制度を導入したはつかいち市民大 計書館については、「指定管理者制度の運用について」(平成22年総行経第38号)も参考にしつつ、経費削減効 (廃止・休止、完了の場合は記入不要)									

果のみに着目するのではなく、図書館の設置の目的の適切な達成を図る必要がある。

												="			
事業番号	事務事業	名	図書館シ	ステム	管理事業			所	f管課	名	教育	部はつかいち市民図書館	所属長名	児玉	英子
	方向性	4	新たな可能	能性に	挑む										
	重点施策	2	市民が主	役!ラ	チャレンジを	応援	する	根	根拠法令等						
	施策方針	1	スポーツヤ	5趣味	などの身	で身近な挑戦の支援									
7 M 1 0	会計	01	款	09	項	05	目	05	事業1	事業2	経·臨	予:	算上の事業	名	
予算科目	一般会	計	教育費	ŧ	社会教育	育費	図書館費		002	81	経	図書館管理運営事業	美(施設管理	!)	

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
	図書館システムを利用して図書館資料を登録することにより、3館の資料	
□ 期間限定複数年度 □ (^{年度~ 年度)}	管理を一元化するとともに、利用者に資料の所蔵状況を公開する。 利用者登録と図書館資料の貸出状況を結び付けることにより、図書館資料の管理を行う。 図書館独自のホームページを利用して、新刊や各図書館の展示、事業等	平成9年図書館開館時から図書館システム導 入による運営
	のお知らせを行うとともに、WEB予約を受け付けする。	

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
・図書館資料の登録を行い、利用者に	\rightarrow	7	 年間図書受入冊数	m	目標	11,000	11,000	11,500	11,500	11,500
所蔵状況を公開する	_	,	牛间凶音文八冊数	Ш	実績	10,667	11,305	10,003		
・利用者登録から資料と結びつけて予約		1	ホームページへの展示事業の掲載		目標	90	100	100	100	100
受付処理を行う	_	1	回数	Ш	実績	102	134	139		
・図書館ホームページに図書館で行う事		ъ			目標					
業等を掲載する					実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
		7	個人貸出利用者/宝利用者粉)	1	見込	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000

図書館利用者

意図(対象をどのような状態にしたいのか)

- ・利用者が図書館資料の所蔵検索や予 約を行うことができる
- ・図書館に来館しなくてもおはなし会等 のイベント情報を知ることができ、参加し やすくなる

	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
→	ア	リクエスト・予約申込数(館内カウン	#	目標	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
		ター受付分)		実績	23,435	21,475	21,838		
_	1	リクエスト・予約申込数(Web及び	m	目標	125,000	120,000	125,000	125,000	125,000
_	1	FAX受付分)	ш	実績	118,855	119,380	120,878		
,	7			目標					
→ ')				実績					

結果(結びつく施策の意図は何か)

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
_	7	図書館を利用する市民の割合	%	目標	37.0	38.0	39.0	40.0	40.0
→ .	,	(後期基本計画から市民アンケートで実施)		実績	30.8	31.5	31.4		
	,			目標					
→ [1			実績					

3 4	事務事業の予算・コス	小					
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
1	事業費(A) (円)	7,282,080	9,999,630	18,270,032	5,633,934	-12,636,098	11,492,173
	国庫支出金					0	
財	財 県支出金					0	
源内	市債					0	
訳	その他特財					0	
	一般財源 7,282,080			18,270,032	5,633,934	-12,636,098	11,492,173
業系	務延べ時間 (時間)	7,156	7,156	7,156	7,156	0	
	人件費(B)(円)	31,417,000	30,524,000	31,259,000	31,730,000	471,000	0
1	ータルコスト(A+B)	38,699,080	40,523,630	49,529,032	37,363,934	-12,165,098	11,492,173
	主な	支出項目	令和	和6年度(決算)		備考	
図書	館システムリース料			1,817,154 円	レシートプリンターリー	-ス、システムリース	
図書	館システム保守料			879,780 円	ドメイン更新料、シス・	テム保守点検	
図書	館システムクラウド和	·····································		2,059,200 円			
図書	館システム再リースに	ー	· &業務	877,800 円			

② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取 ③ この事務事業に対して、関係者(住民、議り組み経緯 会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意 ① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 り組み経緯 前と比べてどう変わったのか。 見や要望が、どの程度寄せられているか。 開館当初からシステムにより資料と利用者を結びつけて貸出し 等の業務を行っていたが、ホームページの開設後、H17年6月か らWEB予約受付を行うようになった。R元年度のシステム更新 時からはホームページからの検索時に書影を出して利用者が本 を選択しやすぐするとともにMy本棚による読みたい本登録等が できるようにした。また、移動図書館車内もWifi環境設定を行い、 館内と同じシステム運用(貸出や返却がその場で反映、検索可 終しがができるようにした。 H 9 図書館システムによる貸出しサービスの開始 予約システム入力の簡略化 H16 図書館ホームページの開設 OPAC(Online Public Access Catalog/オンライ H17 WEB予約受付の開始 ン蔵書目録)の情報内容の詳細表示 H24 館内にインターネット無料利用端末の設置 R1 リクエスト受付状況を確認できる利用者状況確認画 面変更 R 3 WEBからの未所蔵資料のリクエスト受付開始 能)がができるようにした。

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
	①政策体系との整合性(この事	務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)							
	見直し余地がある	理由 説明	 公共図書館は、図書館法に基づき設置された、無料で知識や情報を提供し、市民の知る権利を保障する 社会教育機関であり、「身近な挑戦の支援」の方針とも結びついている。							
目	✓ 結びついている	故心	仕去教月候関でのり、「身近な挑戦の支援」の方針とも指いういている。 							
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)							
当性	□ 見直し余地がある	理由	 市民の知る権利・学ぶ権利を保障することは、市の責任においてなされるべきである。							
評	☑ 妥当である	説明								
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	「図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号)」に、「図書館の利用案							
	☑ 適切である	説明	内、テーマ別の資料案内、資料検索システムの供用等のサービスの充実に努めるものとする。」と定められており、適切な図書館サービスの提供に必要なシステムであることから対象・意図は妥当である。							
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
	☑ 向上余地がある	理由	インターネット回線を利用した図書館システムでの情報管理や利用者への情報提供は日々更新されてお							
	□ 目標水準に達している	説明	り、情報セキュリティを配慮した上で提供サービスを向上させる必要がある。また、電子書籍等の取り入れ についても今後導入効果の分析が必要となってくる。							
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)							
性	□ 影響がない	理由	図書館システムは、業務効率化と利用者へのサービス向上を目的としたものであり、図書館職員がカウン							
評価	☑ 影響がある	説明	ターで行う貸出・返却・利用者登録・予約受付など基本業務を支える機能を有するシステムであることから 業務効率が悪化し、利用者へのサービスが大きく低下するため、廃止・休止することはできない。							
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)									
	□ 改善余地がある	理由	図書館システムでの資料及び利用者の管理は、他の課との類似事業がなく統合することはできない。							
	☑ 改善余地がない	説明	凶者貼ンステムでの資料及い利用名の官理は、他の謎との類似事業がは、統合することはできない。							
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	- - - - 様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)							
効	□ 削減余地がある	理由	回事的、フェノの佐田は、四人は却の佐田じゃフょ 5 / 2 1 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 /							
率	☑ 削減余地がない	説明	図書館システムの管理は、個人情報の管理があるため住民やボランティアでの運営は適さない。							
性評	⑧人件費(延べ業務時間)の削]減余地(原	艾果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)							
価	□ 削減余地がある	理由	図書館システム保守業務は、システム会社に委託している。							
	☑ 削減余地がない	説明	プロポーザルにより受託者を選定し長期契約を締結することで費用を抑えている。							
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化弁	(事業内	- 容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)							
性	□ 見直し余地がある	理由	図書館法(昭和25年法律第118号)第17条において、「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に							
評価	☑ 公平・公正である	説明	対するいかなる対価をも徴収してはならない。」と規定されている。							

6 事	業評価の総	括と今後の方向	性									
①上	記の評価結果	Ę			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	見拠						
Α	目的妥当性	✓ 適切	j 🗆	見直しの余地有り	R元年度の図書館システム更新からクラウドによる情			• •			- 1	
В	有効性	□ 適切		改善の余地有り	全般をベンダーに委ねたことから、図書館業務に集中 ミス型形態でないため、運用、管理、保守も図書館内							
С	効率性	✓ 適切	j 🗆	データ移行に手間取ることでサービス開始の遅延や いる。システム更新の際は、旧システムの仕様書の情						_		
D	公平性	☑ 適切	j 🗆	見直しの余地有り	ちんとベンダーに立案してもらうことが大切である。	Ħ₩Œ	旧みん	- (191	101四02	XIT (10	
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ④改革改善案による成果・コストの期待効												
	拡充	□ 現状維持			今後の改革改善案							
	目的再設定	□ 改善□ 完了	「資料管理 る。図書館	里」「相互貸借」「統語 官システムのDXやIo 、「また利用したい」	」率化と利用者へのサービス向上を目的とした「閲覧管理」 †・帳票」「利用者サービス(OPAC)」の5つの基本機能があ。 すが進む中で、非来館サービスをはじめとする利用者にとっ と思うサービスを提供できる図書館システムであることが理			削向上	コスト 減 維持 〇	_		
⑤改:	5改革改善案を実施する上で解決すべき課題 成果 維持											
行シ	図書館システムの更新に際して、最新のインターネット環境・情報セキュリティ・パソコン機器への専門的な知識と現 行システムで行うことのできるサービスを理解し、利用者からの意見を含めた図書館が求めている機能と経費の整 理が必要である。 (廃止・休止、完了の場合は記入不要)											

事業番号	事務事業	名	児童関係	己童関係講座事業					管課	名	教育	部はつかいち市民図書館	所属長名	児玉 英子	
	方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係・	ブルー	·プ名	図書	系			
	重点施策	2	市民が主	役!ラ	Fャレンジを	ァレンジを応援する				等	図書館法、はつかいち市民図書館設置及び管理条例、廿日市市図書館基本計画				
	施策方針	1	スポーツヤ	5趣味	などの身边	などの身近な挑戦の支援									
	会計	01	款	09	項	05	目	05	事業1	事業2	経·臨	経·臨 予算上の事業名			
予算科目	一般会	Ħ	教育費	ŧ	社会教育費		図書館費		004 01		経	図書館活動事業			

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (^{年度~} ^{年)}	- 子育て世代やおはなし会ボランティア、ブックスタートボランティア等を対象に、読書啓発事業に参加してもらうことから、子どもたちが本に親しむ環境 シ を整えるとともにスタッフを育成する。 - 乳幼児及び児童生徒へのおはなし会等を行う。	平成9年図書館開館時から実施
□ 単年度のみ		

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

	_									
主な活動内容		活動	計標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	保護者及びボランティア向け講座開		目標	4	3	3	3	3
子育て世代やおはなし会ボランティア向	→	,	催数	Ш	実績	3	3	7		
け読書啓発事業の開催 乳幼児及び児童向けおはなし会の実施	\rightarrow	1	かけたし合笠間佐同数		目標	250	200	200	200	200
市内小学校出前派遣事業の実施			おはなし会等開催回数	回	実績	201	238	340		
师""一人出的"派是子来"人派	\rightarrow	Ь	主中小学拉山前東米里拉同粉		目標	13	15	15	15	15
		ウ	市内小学校出前事業実施回数		実績	37	38	48		
	-									
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
			1]					

子ども、保護者、おはなし会等ボランティア、ブックスタートボランティア

	对家	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	/ 年度	8 年度
	٦	保護者及びボランティア向け講座参	1	見込	250	120	120	120	120
		加者数	^	実績	126	120	137		
·	1	おはなし会等参加者数	1	見込	2,500	3,000	6,000	6,000	6,000
	1	のはなし云寺多加有奴	^	実績	2,880	5,490	6,427		
	_	本中小学校山並東業条加老粉		見込	2,000	1,800	1,800	1,800	1,800
•	.)	市内小学校出前事業参加者数		実績	1,806	1,740	2,493		

意図(対象をどのような状態にしたいのか)

読書推進に関わるボランティアが増加 し、本に親しむことの効用を伝える環境 が整っている

	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
→	વ	おはなし会等ボランティアの数(個	ı	目標	70	70	70	70	70
7	,	人)	^	実績	71	45	35		
	,	おはなし会等ボランティアの数(団	団体	目標	14	14	14	14	14
→	1	体)		実績	14	14	12		
٠	4			目標					
7	.)			実績					

結果(結びつく施策の意図は何か)

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
>	7	図書館事業参加者アンケートの満足	%	目標	97	97	98	98	98
	,	度	90	実績	97	98	96		
		図書館を利用する主見の割合	%	目標	37.0	38.0	39.0	40.0	40.0
٠	1	図書館を利用する市民の割合		宔繕	30.8	31.5	31.4		

3 #	▶務事業の予算・コス	ト似安					
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
Pil	事業費(A) (円)	84,900	137,880	99,040	119,760	20,720	121,000
	国庫支出金		0			0	
財	県支出金		0			0	
源 市 債 内			0			0	
			0			0	
	一般財源	84,900	137,880	99,040	119,760	20,720	121,000
業剂	烙延べ時間 (時間)	2,637	2,637	2,637	2,637	0	
,	人件費(B)(円)	11,577,000	11,248,000	11,519,000	11,692,000	173,000	0
Ż	ータルコスト(A+B)	11,661,900	11,385,880	11,618,040	11,811,760	193,720	121,000
	主な	は支出項目	令和	印6年度(決算)		備考	
報償	費(講師謝礼用)			64,320 円			
費用	弁償(講師旅費)			55,440 円			
[円			
]	円			

事業番号	事務事業名	児童関係講座事業	所管課名	教育部はつかいち市民図書館
------	-------	----------	------	---------------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
コロナ禍の中で、ブックスタート事業は手法を変えて実施することになった。 保育園での出前おはなし会や学校への出前事業は、各施設と協議の上、了解の得られた施設には感染拡大防止に考慮して実施したが、コロナ禍以前と同等の読書活動推進事業を行うには至っていない。	てブックトーク勉強会においてZoom等を取り入れた。	Zoomにより安心して発言することができ、参加できたのでよかったという声もあった。コロナは少し落ち着いてきたが、それぞれの環境に合わせ引き続きネットを用いての事業を行うことが、より参加しやすくなるため継続していきたい。

ない	0						
5 ₹	事業評価(令和 6 年度決算)	の評価)					
	①政策体系との整合性(この事	『務事業の	目的は市の政策	体系に結びついて	いるか。意図するこ	とが結果に結び	(ついているか。)
目	□ 見直し余地がある☑ 結びついている	理由 説明			設置された、無料で はの支援」の方針とも		提供し、市民の知る権利を保障する る。
口的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならない	ものか。税金を投入し	て行うべき事業か。住	上民や地域民間等	「に任せることはできないか。)
女当性評	□ 見直し余地がある☑ 妥当である	理由 説明					4号)の基本理念にのっとり、市は、そ 定し、及び実施する責務を有する。
価	③対象·意図の妥当性(事務事	業の現状	・ や成果から考え	て、対象と意図を見	 直す余地がないか。	。)	
	□ 見直し余地がある ☑ 適切である	理由 説明	施」から、廿日市		「本に親しむ」ととも		ける読書への関心を高める取組の実 自らの考え方を深める」ことを取組の
	④成果の向上余地(成果向上の	の余地はた				因で成果が向」	Eしないのか。)
	☑ 向上余地がある☑ 目標水準に達している	理由 説明		成果をあげることは			の質の向上、講座等に多く参加して 、読書活動推進委員との合同研修な
有	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業			 ξは。目的を達成する	るには、この事剤	
効性	□ 影響がない	理由					基本体系が崩れ、子どもたちの未来
評価	✓ 影響がある	説明		を支援することがで		で正元のことう。	を全体ができます。 こうじょう
,,	⑥類似事業との統合や連携による改善	善余地(類似₹	事業(市の事業に限ら	ない)はないか。類似事	業との統合や連携によっ	って成果をより向上	させることはできないか。)
	□ 改善余地がある	理由				 と連携し、図書館	館の本の貸出しや出前おはなし会に
	☑ 改善余地がない	説明	より、効率よく行	うっており統合すると	こころはない。		
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	: <mark>様や工法の見</mark> 値	証し、住民の協力な 。	どで事業費を削減で	きないか。)	
効率は	□ 削減余地がある☑ 削減余地がない	理由 説明		√ティア向けの「子ど 業費の削減余地は		キルアップを図ん	る唯一の事業であり、予算は最小限
性評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	<mark>川減余地(瓦</mark>	、	5り方の見直しや民	間委託などでコスト	ー 削減できないか	(,)
価	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由 説明	学校への出前派	派遣事業や館内で <i>0</i>	りおはなし会は、ボラ	ランティアと一緒	まに実施しており、削減余地はない。
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化余	产地(事業内					
-性評価	□ 見直し余地がある☑ 公平・公正である	理由 説明	のっとり、(中略)子どもの読書活動		策を策定し、及	で、「地方公共団体は、基本理念に び実施する責務を有する。」と規定さ い。
担う							
① 上	記の評価結果			②全体総括(振り)	返り・成果・反省点)・	評価結果の根	
Α	目的妥当性 ☑ 適切		見直しの余地有り	・白ぶんかレースパー大 」	し山今ラス環境・継ん	△七較ラスニレで	₹、子どもの読書への興味・関心を喚
В	有効性 圆切	V	改善の余地有り	起し、子どもの読書	書活動の推進につな	がっている。	
	効率性 ☑ 適切	==	改善の余地有り	実践者が減少する		ご行つているか、	ボランティアスタッフの高齢化により
_	公平性 適切		見直しの余地有り				I
3今	後の事業の方向性(改革改善	<mark>案)・・・複数</mark> T	½選択可	^ // o = ++ = -			④改革改善案による成果・コストの期待効果
	」 拡充 □ 現状維持	「++ 日 古 元	マングキ 詩書活動	今後の改革改 h推進計画 (第三次	善案 マ)に基づき、子ども	に木の楽しさと	
] 目的再設定 ✓ 改善	出会いの対	場を提供し、子ど	ぎもの発達段階に応	じた読書活動の推過	進を図るため、	コスト
] 休止·廃止 □ 完了	おはなし会 成を行 う 。		ストーリーテリング・	等事業の充実、ボラ	ンナイグの育	削減維持増加

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題

子どもと本をつなぐためには、おはなし会やブックトーク、ストーリーテリング等事業の充実とボランティアの育成が必要である。



(廃止・休止、完了の場合は記入不要)

_													="			-
ı	事業番号	事務事業	名	図書等購	入事	务事業			所	f管課	名	教育	部はつかいち市民図書館	所属長名	児玉 芬	英子
ı		方向性	4	新たな可能	能性に	性に挑む					<mark>係・グループ名</mark> 図書係					
		重点施策	2	市民が主	役!ラ	チャレンジを	根	根拠法令等			図書館法、はつかいち市民図書館設置及び管理条例、廿日市市図書館基本計画					
		施策方針	1	スポーツヤ	5趣味	などの身边	丘な挑	送戦の支援	基本	事業						
	7 M 1.1 D	会計	01	款	09	項	05	目	05	事業1	事業2	経·臨	予:	算上の事業	名	
	予算科目	一般会詞	it	教育費 社会教育費	図書館費		004	01	経	図書館活動事業						

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し	 新刊情報を新刊全点案内等書評雑誌や新聞等により確認して、図書や視	
□ 期間限定複数年度 (^{年度~} ^{年度)}	聴覚資料の購入を行う。 利用者からの未所蔵リクエストや所蔵予約を図書館システムにより管理 し、要望の多いものを3図書館が連携して購入する。	平成9年図書館開館時から購入を開始
□ 単年度のみ	計画的な除籍により、質の高い新鮮な資料構成を維持する。 	

し、安全の多いものを3凶者貼か建携して購入する。										
□ 単年度のみ	的な除籍	により	り、質の高い新鮮な資料構成を維持する	ა.						
2 事務事業の対象・意図・活動・病	或果指標									
主な活動内容		活重	助指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
		ア	新規購入冊数	m	目標	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
・図書の購入			がI がLR円ノ (IIII SC	IIII	実績	8,728	8,944	8,803		
・図書の除籍 ・市内別の図書館からの図書の使用を	-	1	除籍図書冊数	₩	目標 実績	12,000 17,740	12,000 10.487	12,000 6.342	12,000	12,000
	用替				天 _限 目標	800	800	800	800	800
	1-	・・・ウ	使用替図書冊数	₩	実績	777	491	337		
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象	射標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
		ア	個人貸出利用者(実利用者数)	人	見込	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
					実績	14,048	15,046	14,548		
図書館利用者	I –	1	累計登録者数	人	見込 実績	98,000 99.135	100,000	102,000	102,000	102,000
					見込	99,133	101,200	102,004		
	l -	ウ	ウ		実績					
			•							
意図(対象をどのような状態にしたいの	(か)	成身	限指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	I -	・	貸出冊数(個人+団体)	m	目標	600,000	650,000	700,000	700,000	700,000
					実績	645,672	675,433	663,717		
知りたい情報を得ることができてい	るー	1		₩	目標 実績					
		ゥ		m m	目標					
		.,		ш	実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)		大たな	である。 その成果指標	出片	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
和未(和ひう)他来の息凶は何か)		かしラ	RV/)以木臼保	半辺	目標	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7
生涯を通じてスポーツや学びへの』	≘欲 ┃ 一	ア	蔵書新鮮率(受入冊数/開架冊数)	%	実績	4.5	4.7	4.1		
を持つ	E. P.		図聿館を利用する市民の割合		目標	37.0	38.0	39.0	40.0	40.0

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
\rightarrow	٦	蔵書新鮮率(受入冊数/開架冊数)	%	目標	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7
	,	殿音利斯华(文八冊数/ 用未冊数)	70	実績	4.5	4.7	4.1		
		図書館を利用する市民の割合	%	目標	37.0	38.0	39.0	40.0	40.0
→	1	(後期基本計画から市民アンケートで実施)		実績	30.8	31.5	31.4		

	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)	
4	事業費(A) (円)	18,915,333	18,286,109	16,708,140	12,510,382	12,510,382 -4,197,758		
	国庫支出金					0		
財	県支出金					0		
源内	市 債 内市 債					0		
訳	訳という。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、					0		
	一般財源 18,915,333 18		18,286,109	16,708,140	12,510,382	-4,197,758	12,533,000	
業務	孫延べ時間 (時間)	2,637	2,637	2,637	2,637			
	人件費(B)(円)	11,577,000	11,248,000	11,519,000	11,692,000	173,000	0	
 	ータルコスト(A+B)	30,492,333	29,534,109	28,227,140	24,202,382 -4,024,758		12,533,000	
	主な	ま支出項目	令和	[[6年度(決算)		備考		
備品	購入費(はつかいち	市民図書館)		9,983,906 円	図書館資料(図書)購	入		
備品	購入費(はつかいち	市民さいき図書館)		2,526,476 円	図書館資料(図書)購	表		
				円				
				円				

事業番号	事務事業名	図書等購入事務事業	所管課名	教育部はつかいち市民図書館
------	-------	-----------	------	---------------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
新型コロナ感染症の拡大による来館者数等の減少前と比べて、来館者数・貸出冊数ともに増えてきている。	必要な資料を適正に管理するため、情報が古くなった資料 を除籍したり、利用がまだ見込まれる図書館に使用替を	WEBからの未所蔵資料リクエストの受付、借りた本を市内の公共施設等に返却できるサービス、来館せずに図書館を利用できる環境等多岐にわたる要望がある。

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

	ENCH IN CIVIL C 1 (ACCOUNTS	** H									
	①政策体系との整合性(この事	事務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)								
	□ 見直し余地がある	理由	 公共図書館は、図書館法に基づき設置された、無料で知識や情報を提供し、市民の知る権利を保障する								
目	☑ 結びついている	説明	社会教育機関であり、「身近な挑戦の支援」の方針とも結びついている。 								
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)								
当性	□ 見直し余地がある	理由	市の図書館であるため、その書籍の購入は市が行うべきである。								
作 評	☑ 妥当である	説明	川の図音時であるため、その音箱の無人は川が打力へきである。								
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)										
	☑ 見直し余地がある	理由	「図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号)」に、「充実した図書館サービスを実施する上で必要となる十分な量の図書館資料を計画的に整備する」と定められており、図書								
	□ 適切である	説明	19 一 こくど 美								
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)								
	☑ 向上余地がある	理由	利用者の動向(予約・リクエスト)を反映させながら、専門職員による利用者ニーズに沿った蔵書の充実や地域に密着した図書館資料を選定・収集を行い、図書館の利用者が必要とする資料の提供を行うことで成								
	□ 目標水準に達している	説明	地域に密有した図書館資料を選定・収集を行い、図書館の利用者が必要とする資料の提供を行うことで成果の向上が見込まれる。								
有効	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)										
性	□ 影響がない	理由	「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設であり、図書館法(昭和25年法律第118								
評価	✓ 影響がある	説明	と、調査研究、レグウエーション寺に負することを目的とする施設であり、図書館法(昭和25年法律第11 計)第3条に掲げる事項等の図書館サービスの実施ができなくなる。								
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)										
	□ 改善余地がある	理由	高度化・多様化する利用者及び住民の要望に対応するとともに、利用者及び住民の学習活動を支援する機能の充実を図るため、資料や情報の相互利用などの他の施設・団体等との協力を積極的に推進してい								
	☑ 改善余地がない	説明	放能の元美を図るため、資料や情報の相互利用などの他の施設・団体等との協力を模型的に推進している。								
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)								
効	□ 削減余地がある	理由	 資料の選書・登録・除籍といった業務は、専門的な知識を持つ職員による運営が市の財産である資料を適								
率性	☑ 削減余地がない	説明	正に管理することができる。								
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	川減余地(月	は果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)								
価	□ 削減余地がある	理由	 大野図書館はR5.3月から周辺公共施設と併せて指定管理者による運営となり、民間手法による効率的な運営が期待できるが、開館時 間・開館日数が増加することから人件費等の削減は見込めない。しかし事業そのものは現状のサービスを継続することが当初の要求								
	☑ 削減余地がない	説明	同一用語口数が増加することがら入行資等の削減は先込めない。しかし事業そのものは現状のサービスを継続することが当初の要求 水準書に盛り込まれており、成果が下がることはない。								
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化分	除地(事業内	· 容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)								
性	□ 見直し余地がある	理由	図書館法(昭和25年法律第118号)第17条において、「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。」と規定されている。図書購入に係るリクエストサービスにつ								
評価	☑ 公平・公正である	説明	対するいがなる対価をも徴収してはならない。 と規定されている。図書購入に係るリクエストザービスにうしいては上限20点を設けることにより、偏りがないようにしている。								

6 4	栗評価の総	枯と今後のス	万回性	<u> </u>						
①上	記の評価結果	₽.				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠			
Α	目的妥当性		適切	✓	見直しの余地有り					
В	有効性		適切	V	改善の余地有り	図書館を利用する市民の割合は横ばいであるのに対				
С	効率性	V	 適切		改善の余地有り	になっている。受入冊数の増加と開架の資料の入れ。 の除籍と更新を図って利用しやすい図書館を目指す!			有于し、51さ杭で	さ貝科
D	公平性	V	適切		見直しの余地有り					
③今	後の事業のプ	5向性(改革	改善	案)•••複	数選択可		4改	革改善案によ	る成果・コストの期待	待効果
	拡充	□ 現状維	持			今後の改革改善案				
	目的再設定 休止·廃止	□ 改善□ 完了		計画的に 国紙及び	整備するよう努め 主要な地方紙並	を実施する上で必要となる十分な量の図書館資料を める。その際、郷土資料及び地方行政資料、新聞の全 びに視聴覚資料等多様な資料の整備にも努める。郷 の電子化に努める。		向上	コスト 削減 維持 増加]] [
⑤改	革改善案を実	€施する上で	解決	すべき課題	題			成果維持		1
して	図書館は指定 いる。3館の連 て効率よく資料	低下 廃止·休止、完	ここの場合は記入不	了 下要)						

令和7年8月 作成

_																	
	事業番号	事務事業	名	スポーツ丼	推進	議会運営	事業		所	f管課	スタイプ 地域振興部スポーツ推進課 所属長名 原田 淳						
		方向性	4	新たな可能	新たな可能性に挑む							スポーツ推進係					
		重点施策	2	市民が主	役!ヲ	テャレンジを	応援	する	根	根拠法令等 スポーツ推進審議会条例及び施行規則、スポ				スポーツ推進計画			
		施策方針	1	スポーツヤ	や趣味	などの身边	丘な挑	戦の支援	基本事業								
	144	会計 01 款 09 項 06 目				01	事業1	事業2	_{業2} 経·臨 予算上の事業名								
	予算科目	<mark>昇科目</mark> 一般会計 教育費 保健体育費 保健体育総		保健体育総務	發	001	01	経	スポーツ推進事業								

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度~ 年度)	スポーツ推進審議会条例に基づき、スポーツの推進に関する調査・審議を 行い、市に助言する。	スポーツ基本法第31条の規定に基づき、廿日 市市スポーツ推進審議会を設置
□ 単年度のみ		

 単年度のみ										
2 事務事業の対象・意図・活動・成果	指標									
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	開催回数		目標	2	2	2	2	2
			MEDS		実績	1	1	1		
廿日市市スポーツ推進審議会	\rightarrow	1			目標					5,
					実績					
	\rightarrow	ゥ			目標 実績					
	_				天祖					
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	委員数	人	見込	10	10	10	10	10
			女只双	^	実績	10	10	10		
廿日市市スポーツ推進審議会委員	\rightarrow	1			見込					
					実績					
	\rightarrow	ゥ			見込					
	_				実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年月
	\rightarrow	ア	審議議事数		目標	2	2	2	2	2
			台		実績	3	2	3		
スポーツ推進に関する審議を行うことに	\rightarrow	1			目標					
より、適切な施策を展開する					実績					
	\rightarrow	ゥ			目標					
	J				実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)		施等	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度

結果(結びつく施策の意図は何か) 生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	٦	成人で週1回以上スポーツや運動を	%	目標	55.0	57.5	57.5	62.5	62.5
→	,	行う人の割合	70	実績	48.3	49.8	48.0		
				目標					
_	٦			実績					

3 ₹	事務事業の予算・コス	ト に に に に に に に に に に に に に								
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)			
H	事業費(A) (円)	0	51,700	43,900	37,700	-6,200	119,000			
	国庫支出金					0				
財	県支出金					0				
源内	市債					0				
訳	その他特財					0				
	一般財源	0	51,700	43,900	37,700	-6,200	119,000			
業系	烙延べ時間 (時間)	10	100	100	100	0				
	人件費(B)(円)	43,000	426,000	436,000	443,000	7,000	0			
7	ータルコスト(A+B)	タルコスト(A+B) 43,000		479,900	480,700	800	119,000			
	主な	は支出項目	令和	日6年度(決算)	備考					
委員	幸			35,000 円						
委員	旅費(費用弁償)			2,700 円						
Ī				円						
				円						

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	*	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
本市スポーツ推進計画にも掲げている、ニュースポーツや障がい者スポーツを幅広く事業展開するよう計画しているが、まだまだ認知度が低いため、継続して展開していく必要がある。	廿日市市スポーツ推進計画の策定をはじめ、本市スポーツ施策に関する課題や方針について諮問を受け、適宜改善を図っている。	特になし。

5 }	事業評	価(令和	6	年度決	算の	評価))
-----	-----	----	----	---	-----	----	-----	---

5 4	事業評価(令和 6 年度決算)	の評価)							
	①政策体系との整合性(この事	3務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)						
	□ 見直し余地がある	理由	廿日市市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ推進のための方針や課題を審議するため、政策体系へのは						
目	☑ 結びついている	説明	結 びつきがある。						
的	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	にければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)						
妥当性評	□ 見直し余地がある	理由	 スポーツ推進に関する重要事項を調査審議し、市のスポーツ推進施策に反映させるため、市の関与は妥						
性評	☑ 妥当である	説明	当						
価	③対象・意図の妥当性(事務事	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	各委員から幅広く意見を聴取し、スポーツ推進の方針や課題を審議しており、見直す余地なし						
	☑ 適切である	説明	谷安貝から幅広へ息見を聴取し、スパーン推進の力針や味趣を審議しており、見直り 未地なし						
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)						
	□ 向上余地がある	理由	各団体を代表する委員からの意見や提言を幅広く取り入れており、目標水準に達している。						
	☑ 目標水準に達している	説明	台凹体を11枚9の安貞からの息見や振言を幅加1取り入れてあり、日標小学に建している。						
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)						
性	□ 影響がない	理由	スポーツ推進を図る上で重要な審議の場であり、スポーツ基本法や条例に基づく機関であり廃止できな						
評価	☑ 影響がある	説明	Lv _o						
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)								
	□ 改善余地がある	理由	統合や連携することで代替できないため						
	☑ 改善余地がない	説明	制には、とは、これには、これは、これには、これには、これには、これには、これには、これには						
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)						
効	□ 削減余地がある	理由	 事業費は会議開催に伴う委員の報酬であり、削減の対象ではない。						
率性	☑ 削減余地がない	説明							
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	減余地(瓦	戊果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)						
価	□ 削減余地がある	理由	必要最低限であり、削減の余地なし						
	☑ 削減余地がない	説明	必安成医院へのが、門場のデルはない						
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化分	₹地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)						
性	□ 見直し余地がある	理由	市全体のスポーツ推進に関する審議を行っているため						
評価	☑ 公平・公正である	説明	17 エドマンハウ ノ] 正定						
6 1	主義証価の必任 しみ込の士白	-14							

V Ŧ	・木口画の香	加して扱い方	P) II									
①上i	記の評価結果	Ę			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠							
Α	目的妥当性	✓ 適	切	見直しの余地有り								
В	有効性	✓ 適	切 □	改善の余地有り	 スポーツ推進審議会は、スポーツ推進に関する重要=	事項(:	こついて調査審議する重要な機					
С	効率性	✓ 適	切 □	改善の余地有り	関であり、必要不可欠である。							
D	公平性	✓ 適	切 🗆	見直しの余地有り								
③今1	後の事業の力	方向性(改革改		④改革改善案による成果・コストの期待効!								
	拡充	☑ 現状維持			今後の改革改善案							
	目的再設定	□改善	たスポー	ツ組織・団体のカ	、幅広い世代におけるスポーツ離れやパワハラといっ 「バナンス問題など変わりつつある。本市のスポーツ		コスト					
	休止·廃止	□ 完了		ī進させていくため 読き施策に生かし	、スポーツ推進審議会の委員から幅広く意見を聴取 ていく。		削減維持増加					
⑤改 3	革改善案を実	に施する上で解			成果維持							
スポ- に、必	低下 低下 歳止・休止、完了の場合は記入不要)											

_																		
	事業番号	事務事業	名	女子野球	マ子野球タウン推進事業						名	地域振興部スポーツ推進課 所属長名 原田 淳次						
		方向性	4	新たな可能	たな可能性に挑む						<mark>係・グループ名</mark> スポーツ推進係							
		重点施策	2	市民が主	市民が主役!チャレンジを応援する					根拠法令等								
		施策方針	1	スポーツヤ	ポーツや趣味などの身近な挑戦の支援				基本	事業								
	7 M 1 0	会計	01	款	09	項	06	目	01	事業1	事業2	程·臨 予算上の事業名						
	予算科目	一般会記	it					保健体育総務	費	001	53	쎮	スポーツ推進事業(政	汝策)				

①事業期間		②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		市の進める男女共同参画と国連の提唱するSDGsに掲げるジェンダー平	
□ 期間限定複数: (^{年度~}	年度年度	一、女子硬式野球部を有する県立佐伯高等学校のさらなる魅力向上や、	令和2年12月21日に廿日市市が全日本女子 野球連盟から「女子野球タウン」の認定を受け たことに伴い、廿日市市女子野球タウン構想を 掲げ、開始した。
□ 単年度のみ		う。	19.7 (1/1/14 0 / 20

□ + +皮のの										
2 事務事業の対象・意図・活動・成果指	標									_
主な活動内容		活動]指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	女性目線でのスポーツ施設改修	ヶ所	目標 実績	1 1	2 1	1	1	1
女性が利用しやすいスポーツ施設の整備やスポーツ教室の開催	\rightarrow	1	スポーツ教室・講演会開催回数(トップア スリート事業+Tボール教室)	回	目標実績	2 3	3 6	3 7	3	3
	\rightarrow	ゥ							年度 7 年度 8 4 4 500 5	
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\longrightarrow	ア	女子野球チーム数	団体	見込	3	4	4	4	4
		,	女子野球ナーム数		実績	3	3	3		
女性、子ども			事業参加者数(トップアスリート事業	人	見込	200	500	500	500	500
女性、子とも	l⊸	1	+Tボール教室)	^	実績	359	1,614	836		
	\rightarrow	ゥ								
辛回(せんナドのしきかはおにしょいのか)	1	+ =	华極(辛國の法代安)	124 IT	ద八	4 左 広	r 左曲	0 左曲	2 左帝	0 左南
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	-	以 果	指標(意図の達成度)	単1业	区分	4 年度				8 年度
	\rightarrow	ア	成人で週1回以上スポーツや運動を	%	目標	55.0	57.5	57.5	62.5	62.5
			行う人の割合		実績	48.3	49.8	48.0		
生涯にわたり野球などのスポーツ競技	\rightarrow	1			目標					
を楽しめる環境づくり		'			実績					
				l	□ + =					

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

→ ウ 施策の成果指標 単位 区分 4 年度 5 年度 6 年度 7 年度 8 年度 主要スポーツ施設の利用者数(廿日市市スポーツセンター、佐伯総合スポーツ公 550,000 目標 543,000 550,000 550,000 550,000 実績 583,192 386,762 508,402 62.5 62.5

目標

% 実績 55.0

48.3

57.5

49.8

57.5

48.0

3 事務事業の予管・コスト概要

結果(結びつく施策の意図は何か)

3 ₽	▶務事業の予算・コス	ト「似安			-				
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
Poli	事業費(A) (円)	3,242,237	1,781,516	4,098,090	32,985,451	28,887,361	33,485,000		
	国庫支出金	0	0	0		0			
財	県支出金	1,456,000	818,000	2,000,000		-2,000,000			
源内	市債	0	0	0		0			
訳	その他特財	1,742,136	963,516	2,098,090	30,000,000	27,901,910	33,400,000		
	一般財源	44,101	0	0	2,985,451	2,985,451	85,000		
業剂	務延べ時間 (時間)	300	300	300	300	0			
	人件費(B)(円)	(円) 1,317,000		1,310,000	1,330,000	20,000	C		
۲	ータルコスト(A+B)	4,559,237	3,060,516	5,408,090	34,315,451	28,907,361	33,485,000		
	主な	は支出項目	令和	日6年度(決算)	備考				
特別	旅費(県外)			6,600 円					
事務	事業委託料		3	32,962,611 円					
 高速	道路通行料			16,240 円					
				円					

成人で週1回以上スポーツや運動を 行う人の割合

事業番号 事務事業名 女子野球タウン推進事業 所管課名 地域振興部スポート

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 ② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取 ③ この事務事業に対して、関係者(住民、議 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 り組み経緯 会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意 前と比べてどう変わったのか。 見や要望が、どの程度寄せられているか。 女子野球の認知が広がり、協力いただく事業 令和2年12月21日に女子野球タウンの認定を 本市の中山間地域に位置する県立佐伯高校は県 受け、関連イベントの実施や施設の整備等に注力 内公立校で唯一の女子硬式野球部があり、その活 者や関係者が大幅に増加している。 動を地域と行政が一体となって発信してきた。 している。 また、女子野球タウンの認定を受け「はつかいちサ また、令和4年4月16日から中四国の女子硬式 野球チームによるリーグ戦、「ルビーリーグ」が開幕 ンブレイズ」が発足するなど、本市が女子野球の盛 んな地として、市民が愛着や誇りを持ち、全国の野 するなど、盛り上がりを見せている。 球女子の憧れの地となることを目指している。

事業評価(令和 6 年度決算の評価)

<u> </u>	*未叶叫\TN 0 十戊次异·								
	①政策体系との整合性(この事	幕務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)						
	□ 見直し余地がある	理由	女子野球の発展により、全てのジェンダーにおいて誰一人として差別されることなく公平に活躍することの						
目	☑ 結びついている	説明	できる機会の創出に繋がり、個々の実力や能力を発揮できる環境整備に十分な可能性を秘めている。						
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)						
当	□ 見直し余地がある	理由	スポーツは多種多様であり、野球に限らず幅広いスポーツ分野へ女性活躍の場を広げる必要がある。						
性評	☑ 妥当である	説明	女子野球はそのきっかけとして必要な事業である。						
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)						
	□ 見直し余地がある	理由	ジェンダーにおいて、公平に活躍することができる機会の創出という観点から、スポーツを媒体とした取組						
	☑ 適切である	説明	は適切であると考える。						
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)						
	☑ 向上余地がある	理由	 「野球」という種目に限定せず、男女が共に活躍できるスポーツを一体的に推進していく。						
	□ 目標水準に達している	説明	「野杯」という住口に依定とす、ガスが大に加雄(ごの人が フェードローは座していい。						
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)						
性	□ 影響がない	理由	継続的に女子野球に関するイベントを実施するほか、地元の女子野球チームを増やすなど持続的な取組						
評価	✓ 影響がある	説明	としなければ、女子野球推進の流れが衰退してしまう。						
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)								
	☑ 改善余地がある	理由	民間の力を活用し、関係各所と綿密な連携を進め、成果を向上させる。						
	□ 改善余地がない	説明	以前の方で右角は、対抗自力に帰血は足透と進め、液木と同工でです。						
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)						
効	☑ 削減余地がある	理由							
率性	□ 削減余地がない	説明	と同じの足が100人はコハーですが、 ハン加入れるととのも。						
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(瓦	成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
価	□ 削減余地がある	理由	必要最小限の人員により対応している。						
	☑ 削減余地がない	説明	20 文章ない 「成なノハストーの・ノバリル・ロ・ロ・ロ・						
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化余	地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)						
性	☑ 見直し余地がある	理由	女子に限らず、男女が共に楽しめるスポーツとして普及が必要である。						
評価	□ 公平・公正である	説明	スコに成りす、ガスがスに木しののスパープとして自及が必要である。						

6 ₹	事業評価の総	括と今後の方向	生										
①上	記の評価結果	果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠								
Α	目的妥当性	上 ☑ 適切		見直しの余地有り	+ 7 m7 m2 fs + 1	3 A LE	3 1 % L 1		T #L +	上売ィーまり			
В	有効性	□ 適切	~	改善の余地有り	女子野球タウンの認知が進み、女子アスリートの活躍いる。	沽躍の場が広がり、沽動支援に繋がって							
С	効率性	□ 適切	V	改善の余地有り	ー方で、「野球」のみに固執することなく他のスポーツ 楽しめるスポーツの推進を進めていく必要がある。								
D	公平性	□ 適切	V	見直しの余地有り	大しののスパークの住屋と座のでいてが安かのる。								
3今	後の事業のス	方向性(改革改善	案)・・・複	数選択可		④改革改善案による成果・コストの期待効果							
>	拡充	□ 現状維持			今後の改革改善案								
	目的再設定体止・廃止	□ 改善□ 完了	また、核の	となるイベントを実	1え、事業継続のための環境整備を行なう。 ほ施し、女子野球を通じた関係人口創出をはじめとした りや、シビックプライド形成に繋げる。			向上	削減維	スト 推持 増:			
⑤改	革改善案を実	実施する上で解決	すべき課題	題			成果	維持					
めて	令和6年度以降、県補助金が見込めなくなり、新たな財源確保が必要となり、企業版ふるさと寄附金等の確保に努めている状況にある。また、引き続き広島東洋カープ・中四国女子野球連盟とも協働していくことに加え、広島県・三次市・他の女子野球タウン認定市町と連携をとり、女子野球に留まらない幅広い施策に繋げていく必要がある。												

		令和 (6	年度事業	美 事	後評価(決算	事務事	ドマス	ネジン	シト	シー	F	令和7年	8月	作成
事	業番号	事務事業	名	スポーツ持	推 建委	員協議会	員協議会運営事業				名	地域	振興部スポーツ推進課	所属長名	原	田 淳次
		方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係・	グルー	-プ名	スポー	ーツ推進係			
		重点施策	2	市民が主	役! 7	チャレンジを	ャレンジを応援する				根拠法令等スポーツ推進委員に関する					
		施策方針	1	スポーツヤ	や趣味	などの身边	丘な挑	戦の支援	基本	基本事業						
7	## 1J 🗆	会計	01	款	09	項	06	目	01	事業1	事業2	経·臨 予算上の事業名				
Ţ> Ĵ	算科目	一般会	計	教育費	教育費 保健体育費 保健体育総務			費	001	01	経	スポーツ推進事業				

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		昭和36年にスポーツ振興法の規定に基づき、 市町が体育指導員として非常勤特別職を任命
□ 期間限定複数年度 (平成 ^{年度~} 令和 ^{年度)}	促進することができるよう支援を行う。	する制度から発足。平成11年に「必置・任命」から「任意・委嘱」とされ、設置は教育委員会での判断とされた。平成23年に「スポーツ振興
□ 単年度のみ		法」が「スポーツ基本法」に移行し、名称も「ス ポーツ推進委員」に変更

□ 単年度のみ	ポーツ推進委員」に変更											
2 事務事業の対象・意図・活動	2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標											
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
	_	ア	理事会実施回数		目標	12	12	12	12	12		
	ĺ		2.		実績	10	10	10				
地域のスポーツ活動の促進	\rightarrow	1			目標							
					実績							
	\rightarrow	ゥ			目標							
					実績							
対象(誰、何を対象にしているの	(か)	対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
					見込		70	70	70	70		
	\downarrow	ア	スポーツ推進委員の人数	人	実績	55	53	57				
スポーツ推進委員			研修実施回数	□	見込	10	10	10	10	10		
スパーク推進安員		1		Ш	実績	9	9	8				
		ゥ			見込							
	Í				実績							
意図(対象をどのような状態にしたし	100ty)	成里	指標(意図の達成度)	畄位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度		
あ四(A)をことのような(A)にした。	7.07/3				目標	50	50 - 12	50 50	50	50		
	\rightarrow	ア	各地域団体への派遣回数	回	実績		61	48				
廿日市市スポーツ推進委員協議					目標							
滑な運営及び指導者としてのス	キル向 →	1			実績							
 		_			目標				-	-		
		ウ			実績							

結果(結びつく施策の意図は何か)

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	7	成人で週1回以上スポーツや運動を	%	目標	55.0	57.5	57.5	62.5	62.5
→ [,	行う人の割合	70	実績	48.3	49.8	48.0		
	,	主要スポーツ施設の利用者数(廿日市市ス	ı	目標	543,000	550,000	550,000	550,000	550,000
→ 1	ポーツセンター、佐伯総合スポーツ公園)	^	実績	386.762	508 402	583.192			

3 車務車業の予管・コスト概要

3 4	₽務事業の予算・コス	ト恢安							
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
3	事業費(A) (円)	5,139,314	5,148,630	5,507,504	5,847,790	8,165,000			
	国庫支出金					0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財					0			
	一般財源	5,139,314	5,148,630	5,507,504	5,847,790	340,286	8,165,000		
業系	烙延べ時間 (時間)	200	200	200	200	0			
	人件費(B)(円)	878,000	853,000	873,000	886,000	13,000	0		
7	ータルコスト(A+B)	6,017,314	6,001,630	6,380,504	6,733,790	8,165,000			
	主な	ま支出項目	令和	日6年度(決算)	備考				
非常	勤職員報酬			4,683,000 円					
その	他(費用弁償、保険	料、負担金など)		1,164,790 円					
				円					
				 円					

<mark>事業番号 事務事業名 </mark>	興部スポーツ推進!
---	-----------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 前と比べてどう変わったのか。	* i= * i= i	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
	本市スポーツ推進委員への報酬額が、県内の他市町との比較において高額であったため、活動内容等を精査し、令和3年度から月額7,000円とする報酬額の見直し及び変更を行った。	特になし。

5	事業評価((6	年度決算の評価	١
U	事 来 計 叫 り	ערא נד	U	十段 次异以計画	

5 }	事業評価(令和 6 年度決算)	の評価)									
	①政策体系との整合性(この事	幕務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)								
	□ 見直し余地がある	理由	 スポーツ推進委員協議会の運営を支えることにより、市民のスポーツ活動を支える指導者の育成につなが								
目	☑ 結びついている	説明	るため								
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)								
当性	□ 見直し余地がある	理由	 スポーツ推進委員の目的及び役割については、スポーツ基本法に定められており、その身分についても市								
性評	☑ 妥当である	説明)非常勤職員として定められているため妥当と言える。								
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)										
	□ 見直し余地がある	理由	スポーツ推進委員が研修に参加するための支援を行い、指導者としての知識や技術の習得などを活かして								
	☑ 適切である	説明	活動ができているため								
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)								
	☑ 向上余地がある	理由	スポーツ推進委員協議会が自立してスポーツイベント等を企画、立案、実施ができ、指導者資格や指導経験をもった者が、市民のスポーツ活動を促進することができれば、健康寿命の延伸や子どもの健康づくり等								
	□ 目標水準に達している	説明	家でもりたるが、自民のスポーク活動を促進することができれば、健康対応の連伸や子ともの健康 りくり等にもつながるため								
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)								
性	□ 影響がない	理由	スポーツ推進委員協議会が、独自に財源を確保し事業を運営していくことは、現状難しいと考えるため								
評価	☑ 影響がある	説明	ヘハーフ推進安員 励磁会が、独自に対象を確保し事業を建当していてこは、死が難しいと考えるため								
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)										
	□ 改善余地がある 理由		類似する事業がないため								
	☑ 改善余地がない	説明									
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)								
効	□ 削減余地がある	理由	 令和3年度に報酬額の見直しを行い、他市町との比較においても、妥当な報酬額としたため								
率性	☑ 削減余地がない	説明	17和6年度に報酬額の光直しと刊い、他刊明との比較に350・6 0、女当な報酬額と5元にの								
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	川減余地(瓦	戊果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)								
価	□ 削減余地がある	理由	 必要最小限のコストで運営しているため								
	☑ 削減余地がない	説明	必安政小阪のコストでほとしているため								
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化分	除地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)								
性	□ 見直し余地がある	理由	スポーツ推進委員の派遣においても、広く市民の要請に応じているため								
評価	☑ 公平・公正である	説明	ハル・フェルスの人ができない。この、四ノ中スの女明に心しているだめ								

0 7	未計画の秘	カとう後の	ונייו כלי	<u> </u>										
①上	記の評価結り	₽.				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠							
Α	目的妥当性	V	適切		見直しの余地有り									
В	有効性		適切	✓	改善の余地有り	日々の活動においては、研修等への積極的な参加やスポーツ推進委員の派遣回数の増 ロなど、ニーズが高まる一方、スポーツ推進委員の高齢化や、新たな担い手不足により人								
С	効率性	がある		^										
D	公平性													
3今	後の事業のフ	5向性(改革	改善	案)・・・複	数選択可		革改善案による成果・コストの期待効果	果						
	拡充 目的再設定 休止・廃止	✓ 現状網□ 改善□ 完了	掛	で		今後の改革改善案 が自立してスポーツイベント等を企画、立案、実施が も参考に連携していく。	-	コスト削減維持増加						
⑤改	革改善案を実	ミ施する上で	で解決	すべき課題	題			成果維持						
	-な人材(担い スポーツ協会。		·自主		(1	低下 低下 係止・休止、完了の場合は記入不要)								

事業番号	事務事第	美名	社会体育施設管理運営事業						管課	名	地域	振興部スポーツ推進課	所属長名	原田 淳次	ζ.
	方向性	4	新たな可能	新たな可能性に挑む						<mark>系・グループ名</mark> スポーツ推進係					
	重点施策	2	市民が主	市民が主役!チャレンジを応援する					根拠法令等 社会体育施設設置及び管理条				理条例		
	施策方針	1	スポーツ	や趣味	味などの身近な挑戦の支援			基本	事業						
	会計	01	款	09	項	06	目	02	事業1	事業2	経·臨	予算	算上の事業	名	
予算科目	一般会	計	教育	ŧ	保健体育費 体育施設費				001	01	経	体育施設管理運営事	業		

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
	以下の社会体育施設について維持管理及び運営を行う。	廿日市市における体育の普及発展並びに市民
□ 期間限定複数年度 (年度~ 年度)	【TIPMOTA 本体 Fileは、 昭北グラウンド、吉和グラウンド、小田島グラウンド、小田島グラウンド多目的広場、阿品台野球場、宮園野球場、昭北テニスコート、阿品台テニスコート、宮園テニスコート、四季が丘テニ	の健康増進及び体力の向上を図るために社会 体育施設を設置した。これに伴い、昭和54年1 0月1日付けで、廿日市市社会体育施設設置
	【経済管理】施設の修繕、草刈り等	及び管理条例を施行した。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容		活動	助指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
市内の社会体育施設等に劣化が見られ	\rightarrow	7	年間の施設修繕等工事回数		目標		5	5	5	5
る場合は修繕を行うほか、日頃の施設			(10万円以上)	ш	実績	9	6	7		
利用等における窓口受付業務を行う。	\rightarrow		団体登録申請件数	件	目標		60	60	60	60
•登録申請		1	凹体豆稣中胡什奴	1+	実績	50	55	57		
· 苦情対応		r)			目標			,		
•施設修繕	\rightarrow	'		<u> </u>	実績					
	-	=								
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	と指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	7	①人口(各年の4月1日時点)	1	見込					
	1 —	,	①人口(谷平の4月1日时品)		/-±	1 4 4 0 0 4 0	445004	1 44 5 0 5 0		

②社会体育施設	

①廿日市市に在住、在勤、在学する人

_	マ	①人口(各年の4月1日時点)		見込	'l	l - j			_
		①八日(音牛の4万1日時点)	^	実績	116,248	115,984	115,658		
_	1	②施設数	ヶ所	見込	11	11	11	11	11
7	1	心心 政效	ケガ	実績	11	11	11		
,	-			見込	l		l i		
→	.)			実績					

息凶(対象をとのような状態にしたいのか)	
市内の社会体育施設等の使用件数の 増加	

	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	7	使用件数	件	目標		3,000	4,000	4,500	4,500
→ /	,	使用件数	1+	実績	3,861	4,578	4,302		
	1	②佐乳の温生による東地供料	件	目標		0	0		
→ 1	②施設の過失による事故件数	1+	実績	0	0	0			

結果(結びつく施策の意図は何か) 生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	
~	成人で週1回以上スポーツや運動を	%	目標	55.0	57.5	57.5	62.5	62.5	
,	行う人の割合	90	実績	48.3	49.8	48.0			
1			目標						
1			実績						

<u> </u>) 予切争未のアネ・コヘト似女												
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)						
=	事業費(A) (円)	7,012,019	6,524,121	3,654,128	4,552,524	898,396	5,030,000						
	国庫支出金					0							
財源	県支出金					0							
源内	市債					0							
訳	その他特財					0							
	一般財源 7,0		6,524,121	3,654,128	4,552,524	898,396	5,030,000						
業務	務延べ時間 (時間)	320	320	320	320	0							
	人件費(B)(円)	1,404,000	1,364,000	1,397,000	1,418,000	21,000	0						
ŀ	ータルコスト(A+B)	8,416,019	7,888,121	5,051,128	5,970,524	919,396	5,030,000						
	主な	支出項目	令和	116年度(決算)	備考								
需用	費			343,694 円									
役務	費			979,320 円									
委託	料			3,229,510 円									
				円									

事業番号	事務事業名	社会体育施設管理運営事業	所管課名	地域振興部スポーツ推進認
------	-------	--------------	------	--------------

等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。		会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意 見や要望が、どの程度寄せられているか。
いるが、老朽化が見られる箇所については随時、	施設の老朽化に伴い、緊急性の高い施設から年間6件程度のペースで維持修繕のための工事を行うともに、施設の長寿命化について検討を重ねた。	

5 ₹	事業評価(令和 6 年度決算	の評価)										
	①政策体系との整合性(この事	務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)									
	□ 見直し余地がある	理由	他束方針に掲げる「スホーツや趣味などの身近な挑戦の文援」に基つさ、スホーツ活動を文援するため、 民									
目	☑ 結びついている	説明	間事業者と連携し、ビジネスパーソンの健康の保持増進につなげるため、スポーツ施設の利用促進に努めているため									
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)									
当	□ 見直し余地がある	理由	り施設として、税金を投入し管理運営を行うことで、民間施設と比較し施設使用者が低額な料金で施設									
(当性評	☑ 妥当である	説明	を 使用するなど、使用者の負担の削減につながるため									
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)									
	□ 見直し余地がある	理由	税金を投入して、施設の管理及び運営を行っているため本市に在住、在勤、在学している者を主たる対象									
	☑ 適切である	説明	としているため									
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)									
	✓ 向上余地がある	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は施設の使用停止(年間113日)が影響したため									
	□ 目標水準に達している	説明	(令和3年度の利用件数:2,612人)									
有効	⑤廃止·休止の成果への影響(事務事業を廃止·休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)											
性	□ 影響がない	理由	社会体育施設は市民にとって重要なスポーツに親しむ場となっており、管理運営業務を休止することで、									
評価	✓ 影響がある	説明	市民の運動機会の喪失につながるため									
	⑥類似事業との統合や連携による改善	事余地(類似 事	『業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)									
	□ 改善余地がある		社会体育施設は市民が気軽にスポーツできる施設であり、現状からスポーツする機会をより増大させる事 業はない。									
	☑ 改善余地がない	説明										
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)									
効	□ 削減余地がある	理由	現在も必要最小限の予算で事業を遂行しているため									
率性	☑ 削減余地がない	説明	先任 0か安取小阪の子弁で学术でかけられているため									
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	<mark> 減余地(成</mark>	t果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)									
価	□ 削減余地がある	理由	 現在も必要最小限の人員で事務を遂行しており、類似する施設もなく業務等の統合は考えにくい。									
	☑ 削減余地がない	説明	が正 0万女取り取り八貫(平4万とを170 C007、泉内) 0.地区 0.4 (末4万中 0.地口18.5 元に 1.0 %)									
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化系	地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)									
性	□ 見直し余地がある	理由	 使用者は特定されておらず、公の施設として広く一般的に開放されているため									
評価	☑ 公平・公正である	説明	ETH ETG TO COSS Y CAST IEEE COLOR WAS INCIDENCE OF COSS OF COSS									
6 ₹	事業評価の総括と今後の方向や	<u> </u>										
①上	記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠									
Α	目的妥当性 🗸 適切		見直しの余地有り									

0 7	未計画の称	лаς.	フレツ	ן נייו ניי	<u> </u>										
①上記	記の評価結果	₹						②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠						
Α	目的妥当性		V	適切	[見直しの余地有り								
В	有効性			適切]	V	改善の余地有り	新型コロナウイルス感染症の収束により、利用件数は伸びている。							
С	効率性		✓	· 適切	[改善の余地有り	使用者は増加しているが、施設不具合による大きな苦情やトラブルについては発生してい ない。一方で、施設や備品などは老朽化しており、今後は計画的な更新が必要である。							
D 公平性 🗹 適切 🗌 見直Lの余地有り															
3今1	③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可														
	拡充	V	現状維	掛				今後の改革改善案							
	目的再設定		改善		今後、めたい		の受け渡しを電う	子キーに変更するなど、利用者の利便性の向上に努			コスト				
	休止·廃止	~	完了							向上	削減維持増加				
⑤改3	革改善案を実	施す	る上で	が解決	すべき	課是	頁			成果維持					
施設 ⁻	予約管理シス	テム	との連	携					()	低下 ^{廃止・休止、} 完	完了の場合は記入不要)				

	令和 (6	年度事業 事後評価(決算) 事務事業で						ミマネジメントシート				令和7年8月 作成		
事業番号	事務事業	名	スポーツも	[営事	業	所管課名 地域振興部スポーツ推進課				振興部スポーツ推進課	所属長名	原田 淳次			
	方向性	4	新たな可能	能性に	上挑む			係・	ブルー	-プ名	スポーツ推進係				
	重点施策	2	市民が主	役!7	チャレンジを	応援	する	根拠法令等 公園条例、サッカー場設置及び管理					条例、スポーツセンター等管理運営規則		
	施策方針	1	スポーツヤ	5趣味	などの身	丘な挑	戦の支援	基本	事業						
7 M 1.1 D	会計 01 款 09 項 06 目					02	事業1	事業2	程·臨 予算上の事業名						
予算科目	一般会	計	教育費	ŧ	保健体育費 体育施設費			ì	002	01	経	スポーツセンター等管	管理事業		

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度	廿日市市スポーツセンター、峰高公園多目的広場、佐伯総合スポーツ公園(体育館、野球場、陸上競技場、テニスコート)、廿日市市サッカー場(以下「スポーツセンター等」という。)の7施設について、指定管理者制度のもと適正な管理運営を行う。	園条例に基づく施設であるが、スポーツに関す
□ 単年度のみ		

	-ツセ:	ンター	・等」という。)の7施設について、指定作行う。			のもる利	用が大半を	占めている	ることから、 れている。	
□ 単年度のみ	1-12					C r v	. , , , , , ,	HP 61-12-C	.40 00	
2 事務事業の対象・意図・活動・成果排	標									
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年原
	\rightarrow	ァ	修繕箇所数(100万円以上の修繕)	ヶ所	目標	5	5	5	5	5
女性ルレブハスフザーツ佐乳笠を ニノ		,	※公園整備事業を含む	.7 131	実績	3	6	3		
老朽化しているスポーツ施設等を、ライフサイクルコストを踏まえて計画的に修	\rightarrow	1			目標					
べきがある。					実績					
	\rightarrow	ゥ			目標					
					実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)	1	が多	指標(対象の規模)	単位	区公	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8年
小家(能、円を外家にしているのが)		V.1 3V	廿日市市人口(各年の4月1日時	平区	見込	- 十尺	- 4 年及	- 0 千尺	- 十尺	-
	\rightarrow	ア	点 点 点 点	人	実績	116.248	115.984	115.658		
施設利用者			,		見込	110,210	110,001	110,000		
(主には廿日市市民であるが、これに限 定するものではない)	\rightarrow	1			実績					
たり のもの こはない		_			見込					-
	\rightarrow	ゥ			実績					
	-			1						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位		4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8年
	\rightarrow	ア	主要スポーツ施設の利用者数 (サ日市市スポーツセンター、佐伯総合スポーツセンター)	人	目標	543,000	550,000	550,000	550,000	550,000
市民が身近な場所で気軽にスポーツを			園)		実績	386,762	508,402	583,192		
楽しめるように、地域のスポーツ施設等 の利便性を向上し、地域のスポーツ活	\rightarrow	1			目標					
が利使性を向上し、地域のスポーツ活動の場の充実を図る。					実績					
	\rightarrow	ゥ			目標					
	J		l .	l	夫限					
結果(結びつく施策の意図は何か)		施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年
	1	ア	成人で週1回以上スポーツや運動を	0/	目標	55.0	57.5	57.5	62.5	62.5
	\rightarrow	,	1	%						

生涯を通じてスポーツや学びへの意欲 を持つ

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	٦	成人で週1回以上スポーツや運動を	%	目標	55.0	57.5	57.5	62.5	62.5
>	,	行う人の割合	70	実績	48.3	49.8	48.0		
	,			目標					·
۱	1			宝績					

3 4	■務事業の予算・コス	ト概要							
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
М	事業費(A) (円)	228,107,943	254,687,000	213,389,200	234,000,000	20,610,800	263,927,000		
	国庫支出金	0	0			0			
財	県支出金	0	0			0			
源内	市債	0	0			0			
訳	その他特財	4,603,010	7,263,550	8,422,980	3,285,110	-5,137,870	2,665,000		
	一般財源	223,504,933	247,423,450	204,966,220	230,714,890	25,748,670	261,262,000		
業務	務延べ時間 (時間)	400	400	400	400	0			
	人件費(B)(円)	1,756,000	1,706,000	1,747,000	1,773,000	26,000	0		
ż	ータルコスト(A+B)	229,863,943	256,393,000	215,136,200	235,773,000	263,927,000			
	主な	ま支出項目	令和	日6年度(決算)	備考				
事務	事業委託料		23	34,000,000 円					
				円					
				円					
				 円					

事業番号 事務事業名 スポーツセンター等管理運営事業 所管課	<mark>名</mark> 地域振興部スポーツ推進詞
--------------------------------	-----------------------------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
施設の経年による劣化や、光熱水費や人件費等 の高騰が顕著に現れている。	10.000000000000000000000000000000000000	施設利用者からはスポーツ関係備品の更新などの声が届いている。

5 }	事業評価(令和 6 年度決算	の評価)								
	①政策体系との整合性(この事	事務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	 市民が行うスポーツや趣味などの身近な挑戦の支援として、市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめ							
目	☑ 結びついている	説明	るよう、地域のスポーツ施設等の利便性の向上及び活動の場の充実に努めている。							
的	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)							
妥当性	□ 見直し余地がある	理由	民間のノウハウを生かして適切に管理運営されている。							
評	☑ 妥当である	説明	氏的のアプバンとエからに避めた日本屋古で40℃であ。							
価	③対象・意図の妥当性(事務事	事業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	第6次総合計画に掲げる施策方針にも則している。							
	☑ 適切である	説明	NOONING THE DESCRIPTION OF THE OWN OF THE OW							
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)							
	☑ 向上余地がある	理由	 自主事業の実施回数及び内容を充実させることで、利用者が増加し、施設自体の利用周知にもつながる。							
	□ 目標水準に達している	説明	日土事業の失態自然及びです音を光失させることで、利用者が、指加し、態故自体の利用的知によりなかる。							
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)							
性	□ 影響がない	理由	 市が直営で管理する場合、財政負担も大きく効率が悪いなど、施設利用者にも影響が及ぶ可能性がある。							
評価	✓ 影響がある	説明	1777 世日で日至了の物目、別以及12 07で、700 でで、100 V で、100 V で い、100 V で い い い い い い い い い い い い い い い い い い							
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)									
	□ 改善余地がある	理由	統合や連携することで代替できない。							
	☑ 改善余地がない	説明	inter (Ens.) dec cita ce ev 8							
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)							
効	□ 削減余地がある	理由	 必要最小限のコストで管理・運営している。							
率性	☑ 削減余地がない	説明	DEATH ROUNT CERT RELOCK OF							
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	川減余地(瓦	t果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)							
価	□ 削減余地がある	理由	 必要最小限の人員で管理・運営している。							
	☑ 削減余地がない	説明	DENT MONIE CHA ZELO CO GO							
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化分	地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)							
性	□ 見直し余地がある	理由	 公園条例に基づき、周辺施設との整合を図るなど適正に運用されている。							
評価	✓ 公平・公正である	説明								
6 4	事業評価の総括と今後の方向や	生								

0 =	予果評価の総:	括と寸後の方	可性							
1	:記の評価結果	Ę			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠				
Α	目的妥当性	✓ 適	切	見直しの余地有り						
В	有効性	□ 適	切 🗹	改善の余地有り	 施設の適切な管理運営により、利用者が安全かつ快	適に利用	できてい	いる。ただ、	、利用:	者に
С		✓ 適	切 🗆	改善の余地有り	よる満足度をさらに向上させる必要があり、管理者と	ともにソフ	ト面での	の充実を図	りたい	١,
D	公平性	✓ 適	切 🗆	見直しの余地有り						
③今	後の事業の方	方向性(改革改	善案)・・・複	数選択可		④改革改善	事案による	る成果・コストの	の期待対	効果
	」 拡充] 目的再設定	☑ 現状維持□ 改善	令和5年		今後の改革改善案 寿命化計画や整備方針等に基づき、計画的な整備・修 、管理者による自主事業等を充実させ、より高い満足			コスト		
	休止・廃止	□ 完了	感を得る	ことのできる運営	を促す。		向上	削減 維持	増加	
⑤改	ば革改善案を実	『施する上で解	決すべき課	題		成身	果維持			
令和 る。	15年度から大	規模な工事を	実施しており	、工事期間中にお	おける利用者への利用制限などが課題として挙げられ	(廃止・	低下 休止、完	子の場合は記	己入不要	重)

事業	番号	事務事業	名	障がい者	スポー	ツ推進事	/推進事業					所管課名 地域振興部スポーツ推進課 <mark>所属長名</mark> 原田					
		方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係・	<mark>系・グループ名</mark> スポーツ推進係							
		重点施策	2	市民が主	役!ラ	チャレンジを	応援	する	根拠法令等 廿日市市スポーツ推進計画								
		施策方針	1	スポーツヤ	や趣味	などの身近	fな挑	戦の支援	基本	事業							
AV		会計	01	款	09	項	項 06 目 0				事業2	2 _{経・臨} 予算上の事業名					
予算	科目	一般会詞	it	教育費	ŧ	保健体育	費	保健体育総務	費	001	51	経	スポーツ推進事業(政	女策)			

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し	①障がい者スポーツに対する理解促進 ア) 障がい者スポーツの周知、イ) 関連イベントの企画立案、ウ) 共生社会	
	の実現に向けた関係団体との連携 ②障がい者のスポーツ活動の推進 ア)障がい者関係団体等との連携、イ)障がい者スポーツイベントの企画	令和26年度に障がい者スポーツの所管が厚生 労働省から文部科学省へ移管 平成30年度策定の市スポーツ推進計画におい ても明確に位置付け
□ 単年度のみ	立案、ウ)障がい者スポーツ促進への環境整備(利用促進事業・施設改修 等)	(O) HEICH E 11 / 1

4)										
2 事務事業の対象・意図・活動・成果排	標									
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	研修参加	ı	目標	_	5	5	5	5
・初級障がい者スポーツ指導者の確保			1) I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	^	実績	_	0	3		
(障がい者への理解促進等)	\rightarrow	1	 障がい者スポーツイベントの開催	回	目標		12	12	12	12
・障がい者スポーツイベントの開催				ы	実績	_	12	12		
(インクルーシブスポーツを含む。)	\rightarrow	ن			目標					
					実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)	1	対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
ATSA (他、同と対象にOCV GO/A)	\rightarrow		廿日市市人口(各年の4月1日時	+12	見込	- T/X	- TX	- V	- TX	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —
・障がいのある方		ア		人	実績	116.248	115.984	115.658		
・ボランティア					見込	,	,	,		
•施工事業者	\rightarrow	1			実績					
·市民		ゥ			見込					
	\rightarrow	')			実績					
	_ _					, _			,	
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			指標(意図の達成度)	甲位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
・障がい者の障がい者スポーツへの興	\rightarrow	ア	障がい児が障がい者スポーツに興	%	目標				— 	—

- ・障がい者の障がい者スポーツへは・関心・障がい者スポーツ指導者の育成

- ・ボランティア育成 ・市民の障がいに対する理解促進
- ・公共施設のシルバーデザイン化

	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
_	7	障がい児が障がい者スポーツに興	%	目標					
	,	味・関心を持つ	90	実績	_	_	_		
_	/	障がい者スポーツイベントへの参加	ı	目標	350	350	350	350	350
	1	者数	_	実績	_	253	171		
	ь	障がい者スポーツ指導者の登録者	1	目標	30	30	30	30	30
\rightarrow	')	数	^	実績	_	0	3		

結果(結びつく施策の意図は何か) ・生涯を通じてスポーツや学びへの意欲を持

・安心してスポーツ活動に取り組むことができる安全な環境(施設・ボランティア)の整備

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
\rightarrow	7	成人で週1回以上スポーツや運動を	%	目標	55.0	57.5	57.5	62.5	62.5
	`	行う人の割合		実績	48.3	49.8	48.0		
\rightarrow	1	主要スポーツ施設の利用者数(廿日市市スポーツセンター、佐伯総合スポーツ公園)		目標	543,000	550,000	550,000	550,000	550,000
	۲			実績	386,762	508,402	583,192		

3 1	事務事業の予算・コス	ト似安							
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
事業費(A) (円)		50,000	50,000	919,264	941,483	22,219	4,616,000		
	国庫支出金					0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財					0			
	一般財源	50,000	50,000	919,264	941,483	22,219	4,616,000		
業系	烙延べ時間 (時間)	20	20	108	130	22			
	人件費(B)(円)	87,000	85,000	471,000	576,000	105,000	0		
トータルコスト(A+B)		137,000	135,000	1,390,264	1,517,483	127,219	4,616,000		
	主な	は支出項目	令和	16年度(決算)	備考				
広島	場県パラスポーツ協会	特別会員加入負担金	:	13,500 円					
みん	 ,なのスポーツ体験会	·		927,983 円					
				円					
				円					

<mark>事業番号 事務事業名</mark> 障がい者スポーツ推進事業 所管課名 地	地域振興部スポーツ推進認
--	--------------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	* i= * i= i	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
東京2020パラリンピック競技大会を契機に、市民の障がい者スポーツへの関心が高まっており、今後、共生社会に向けた取り組みがより重要視されている。	障がい者が安心してスポーツに取り組むことができる環境づくりを推進している。障がい者スポーツ教室等を実施し、普及啓発に努めるとともに、障がいの種別に応じた対応等を学び、活動をささえるサポートスタッフ等の育成にも努めている。	がいのある方が利用しやすい施設(バリアフリーなど)に改修するための費用や大会を開催

5 4	事業評価(令和 6 年度決算	の評価)								
	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)									
目的妥当性評	□ 見直し余地がある	理由	初級パラスポーツ指導員の養成講習会、パラスポーツ指導者研修会と各3名ずつ参加し指導者確保に努めた。							
	☑ 結びついている	説明								
	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)									
	□ 見直し余地がある	理由	現段階においては、市が直接関与し、積極的に障がい者スポーツを展開することが望ましいと考える。 一定期を過ぎ、各種団体で障がい者スポーツ推進を図ることができると見込まれた段階で、広島県などとも							
	☑ 妥当である	説明	協調し、障がい者スポーツ協会等の立ち上げも検討する必要があると考える。							
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)									
	□ 見直し余地がある	理由	現段階においては、周辺理解も含め、着実に進めていくことが大事であると考えている。 障がいのある方自身の障がい者スポーツへの関心と周りのサポート体制を構築するための着実な歩みが							
	☑ 適切である	説明	関がいののる方白牙の厚かい白スパーラへの関心と同りのサポート体制を構業するための看美な少みが 必要である。							
	④成果の向上余地(成果向上	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)							
	✓ 向上余地がある	理由	スポーツ推進委員を含め、障がい者スポーツに精通したスタッフ等の育成が一定程度進めば、成果のF がみられると考えている。							
	□ 目標水準に達している	説明								
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)							
性	□ 影響がない	理由								
評価	✓ 影響がある	説明	障がい者スポーツを推進する必要があり、廃止・休止は検討の余地なし。							
	⑥類似事業との統合や連携による改善	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)								
	☑ 改善余地がある	理由	障害者福祉団体等との連携をしっかりと進めていく必要がある。							
	□ 改善余地がない	説明	 							
	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)									
効	□ 削減余地がある	理由	事業の性格から効率性を優先するものではなく、現段階において事業費削減する余地はないと考える							
率性	☑ 削減余地がない	説明								
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)									
価	□ 削減余地がある	理由	今けまだ道え即であることから、削減する今地けないと考える							
	☑ 削減余地がない	説明	今はまだ導入期であることから、削減する余地はないと考える。 							
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)									
十性評価	□ 見直し余地がある	理由	公平公正となっている。							
	☑ 公平・公正である	説明								
6 4	事業評価の総括と今後の方向「	<u></u>								
1	記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠							

0 #	果評価の総	括とず	皮の,	力 則 [<u> </u>								
①上	記の評価結り	果					②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠					
Α	目的妥当性	Ė	>	適切		見直しの余地有り							
В	有効性			適切	V	改善の余地有り	障がい者スポーツの推進は行政の責務でもある。本市においては、まだ導入期であることから、関係団体としっかりと連携し、併せて、サポートスタッフ等の人材育成にも注力していく必要がある。						
С	効率性		V	 適切		改善の余地有り							
D	公平性		✓	 適切		見直しの余地有り							
3今	後の事業のフ	方向性(改革	改善	案)・・・複	数選択可		④改革改善案による成果・コストの期待効果			待効果		
V	拡充	□現	状維	持			今後の改革改善案						
	目的再設定	□改	善				方々の事業への参画促進。それにつなげるための関 ポーツ推進委員をはじめとしたサポートスタッフの育			コスト			
	休止•廃止	□ 完	了		成。	- WED30 012(V				削減維持増加	加		
									向上)		
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題							J	成果維持	Ē /				
	障がい者スポーツ事業の活動状況の周知及び認知度の向上が必要。それに伴い事業に参画する対象者の身体 的特性などから、安全・安心にスポーツ利用できる環境の整備が必要								不要)				